

検 定 意 見 書

2 枚中 1 枚目

受理番号 30-9		学校 小学校	教科 算数	種目 算数	学年 1
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
1	上巻 69	2	▲2	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (どのような設定になっているのか分からず活動できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)
2	70	吹き出し	右下のだいきの吹き出し「でも、おおきさがちがうよ。」	児童にとって理解し難い表現である。 (何の大きさが違うのか分からない。)	3-(3)
3	104	3 - 4 右	■1	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (どのような観点で同じとみなすのか分からないものがあり、解答できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)
4	下巻 24	吹き出し	右のななみさんの吹き出し「はこはおることができないから…。」	児童にとって理解し難い表現である。 (「はこ」が何を示しているのか分からない。)	3-(3)
5	32 - 33		かつどう!!	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (「ごぜん」, 「ごご」の説明がなく活動ができないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)
6	32 - 33		かつどう!!	発展的な学習内容であることが明示されていない。 (「午前」, 「午後」)	2-(17)
7	41	図	下の数直線	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (数直線の125の部分)	2-(17)
8	48	イラスト	右上のイラスト	相互に矛盾している。 (イラストの校舎の時計の時刻とイラストの左下の時計の時刻)	3-(1)
9	61	9 - 12	②	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (簡単な絵や図などに表すことを超える学習)	2-(17)
10	71	1 - 5	①	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (どのような絵を描くのか分からず解答できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 30-10		学校 小学校		教科 算数	種目 算数	学年 2
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	上巻		図書の内容全体 及び下巻の図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容A(1)のア(オ)の「簡単な事柄を分類整理し、それを数を用いて表すこと。」が扱われていない。)	2-(1)	
2	6	グラフ	下の「しりょうのしま」の「数を絵などにおきかえてあらわす。」の下のグラフ	不正確である。 (第1学年で扱う内容ではなく、5ページの表題「1年生で見つけた考え方」に対して不正確である。)	3-(1)	
3	10	囲み	左下囲み内の「たんげん」	児童にとって理解し難い表現である。 (何を示しているのか理解し難い。)	3-(3)	
4	13	表	上の表の合計欄 他に、下巻106ページ下の表の合計欄、108ページ2つの表の合計欄	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (簡単な表を超える表)	2-(17)	
5	15	吹き出し	左下のだいきの吹き出し	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (簡単なグラフを超えるグラフ)	2-(17)	
6	24	囲み	左の青いロボットの囲みにある「時のところ」	児童にとって理解し難い表現である。 (どこを指しているのか分からない。)	3-(3)	
7	24	表	右の時刻表の左上にある「時刻」	児童にとって理解し難い表現である。 (これまでは「時こく」と表記されているため)	3-(3)	
8	48	5	「26まい」	不正確である。 (「まい」)	3-(1)	
9	82	図	105-78の筆算の過程を示す図の3つ目における筆算の一の位の上の「9」	誤りである。	3-(1)	
10	86	18 - 20	■4	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (当てはめる数によっては未習の計算となるため、解答できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

3 枚中 2 枚目

受理番号 30-10		学校 小学校		教科 算数		種目 算数		学年 2	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
11	101	18	△1② 他に, 19行④, 103ページ12行■3①	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず, また, 発展的な学習内容であることが明示されていない。 (複雑な異なる単位間の繰り上がりや繰り下がりのある計算)	2-(17)				
12	104 - 105		かつどう!!	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (未習の筆算があるため, 105ページの学習をすることができないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)				
13	104 - 105		かつどう!!	発展的な学習内容であることが明示されていない。 (簡単な場合を超える3位数と2位数の減法)	2-(17)				
14	106 - 117		⑨水のかさ	学習指導要領に示す内容に照らして, 扱いが不適切である。 (内容C(1)のA(イ)の「かさ」における「およその見当をつけ, 単位を適切に選択して測定すること」が扱われていない。)	2-(1)				
15	116	7	■2④ 他に, 8行⑤	組織が適切でない。 (1000を超える数は, 下巻66ページからの学習内容である。)	2-(12)				
16	145	1	91ページでつかいます。	不正確である。 (90ページから使われている。)	3-(1)				
17	下巻 表見返 -1		数えたい, まとめたい	水族館や動物園の統計資料は, 信頼性のある適切なものが選ばれていない。	2-(9)				
18	31	吹き出し	下の吹き出し「5のだと2のだんを合わせて考えると…。」 他に, 33ページ右下のななみの吹き出し, 35ページ右下のゆいの吹き出し, 130ページ右10-14行■10	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして, 扱いが不適切である。 (内容の取扱い(4)の「主に乗数が1ずつ増えるときの積の増え方〜を取り扱う」に照らして, 扱いが不適切である。)	2-(1)				
19	45	囲み	右のロボットの囲み「140ページのひょうをうめよう。」 及び140ページの表	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず, また, 発展的な学習内容であることが明示されていない。 (140ページの表の右下の2位数と2位数の乗法の部分)	2-(17)				
20	45	18 - 20	同じように, 3×11 や 3×12 もかける数を分けて考えられます。	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして, 扱いが不適切である。 (内容の取扱い(4)の「主に乗数が1ずつ増えるときの積の増え方〜を取り扱う」に照らして, 扱いが不適切である。)	2-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

3 枚中 3 枚目

受理番号 30-10		学校 小学校	教科 算数	種目 算数	学年 2
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
21	79	吹き出し	下のななみの吹き出し	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (簡単な場合を超える2位数と1位数の乗法)	2-(17)
22	82	図	▲1の下の図	不正確である。 (下の目盛り)	3-(1)
23	108	グラフ	下のグラフ	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (簡単なグラフを超えるグラフ)	2-(17)
24	122	囲み	ルールの書かれている囲み	児童にとって理解し難い表現である。 (どのように動かしてよいのか、どのような条件で重ねてよいのか分からない。)	3-(3)
25	124	囲み	左下の「2.何でも「はかる」チーム」のクイズ	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (複雑な時間を求める問題)	2-(17)
26	132	12 - 21 左	■7	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (このような計算は未習のため、解答できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)
27	132	12 - 21 左	■7	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (簡単な場合を超える2位数と1位数の乗法)	2-(17)
28	133	5 - 6 左	■1① 他に、7-8行左②	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (時間を数えるものがないため、時間を求めることができないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)
29	134	図	右の■6の数の線の図	児童にとって理解し難い図である。 (青い枠)	3-(3)
30	140	図	図の「10のだん」、「11のだん」、「12のだん」及びゆいの吹き出しの「10のだん」、「11のだん」	児童にとって理解し難い表現である。 (何を意味するのか分からない。)	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

1 枚中 1 枚目

受理番号 30-13		学校 小学校	教科 算数	種目 算数	学年 1
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
1	1	写真	右上の写真の机の前面「DAIICHI」	特定の営利企業の宣伝になるおそれがある。	2-(7)
2	4 - 5		なかよし	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (「なかま」を線で囲むことが困難なものがあり、4ページ左下の例示のように「なかまをあつめましょう。」ができないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)
3	32	1	「5はいくつといくつですか。」におけるおはじきと□の対応	不正確である。 (対応していない。)	3-(1)
4	39	4 - 6	「おうちでさんすう 10をつくるゲームをしましょう。」及び「2まいのカードで10をつくれたらすてられるよ。」	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (どのトランプのカードを使用するのかについて説明が無く、ゲームができないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)
5	76	3	2とびでかずをかぞえましょう。	児童にとって理解し難い表現である。 (どのように数えるのか分からない。)	3-(3)
6	102	5 - 8	鉛筆1、及び鉛筆2	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (与えられている写真からは、広さを比較することができず、解答できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 30-14		学校 小学校		教科 算数		種目 算数		学年 2	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	表見返 -1	側注	「あとの学しゅう」における「ぼうグラフ」, 「角」, 「直方体」, 「立方体」	児童にとって理解し難い用語である。 (上の学年で学習する未習の用語)	3-(3)				
2	52	10 - 11	みじかい長さは、小さいたいmmのいくつ分であらわすことができます。	不正確である。 (「たいmm」は長さを表していない。)	3-(1)				
3	68	7	340をあらわす目もりに↑をかきましよう。	児童にとって理解し難い表現である。 (上には類似の3つの数直線があり、どの数直線に矢印をかくのか分からない。)	3-(3)				
4	71	8	△3 上の数の線の□にあてはまる数を書きましよう。	児童にとって理解し難い表現である。 (すぐ上の数の線には□がなく、どの数の線か分からない。)	3-(3)				
5	74	写真	「みのまわりの算数」の切符の写真における「東武鉄道」	特定の営利企業の宣伝になるおそれがある。	2-(7)				
6	94	1	べんきょうしていた時こく	児童にとって理解し難い表現である。 (「べんきょうしていた」という継続した行為が時刻で表されることが分からない。)	3-(3)				
7	94	3	□4における「午前、午後をつかっていまいましよう。」に対する①	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (①の勉強していたのが、午前か午後か判断がつかず、解答できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)				
8	149	吹き出し	下のラビちゃんの吹き出し「6のだんの九九も、かけ算のきまりをつかうとつくれるね。」	児童にとって理解し難い表現である。 (これまでに「かけ算のきまり」が明確に述べられておらず、何を指すのか分からない。)	3-(3)				
9	178	12 - 13	「はってん3年」の鉛筆2の問題、及び「[プラス・ワン p.227◇キ]」	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されていない。	2-(17)				
10	209	図	□2の問題における図「○き」と「○こ」	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (縦10cm, 横4cmの長方形を選択する場合、「○き」と「○こ」のどちらを選ばよいか分からず、また、その「えらんだわけ」も示すことができないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

2 枚中 2 枚目

受理番号 30-14		学校 小学校	教科 算数	種目 算数	学年 2
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
11	219	10	◇ヌ①62-54	組織が適切でない。 (この問題は43ページに続いて行われるが、直前の43ページ鉛筆12と計算式が同じである。)	2-(12)
12	222	13 - 14	「◇ケ」の③と④	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (時刻を数えるものがないので、時刻を求めることができないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)
13	225	25	「◇ロ つぎのようなかけ算九九のしきをぜんぶ答えましょう。」における「②答えが36になるしき」	組織が適切でない。 (この問題は156ページ、157ページに続いて行われるが、156ページ□2③と同じ問題である。)	2-(12)
14	229	3 - 4	◇ニ	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容A(1)のア(カ)の「簡単な分数」の観点から具体物の操作が明確に扱われていない。)	2-(1)
15	229	17 - 20	◇ヘ	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (正方形や長方形の面で構成される箱の形を超える学習)	2-(17)
16	232	16 左段	「◇セ」の④の解答	誤りである。	3-(1)
17	234	5 右段	「◇ン」の②の解答「140cm-126cm=14cm」	3位数同士の引き算は、学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容A(2)のア(ア), 及びア(イ))	2-(1)
18	236	8 右段	「p.116 3) ①」の解答	不正確である。 (問題の「どちらが何本多いか求めます。」に適さない。)	3-(1)
19	236	19 右段	「p.165 2) ⑤, ⑥」の解答	誤りである。	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

1 枚中 1 枚目

受理番号 30-26		学校 小学校		教科 算数		種目 算数		学年 1	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	上巻 20	イラスト	「7」のところにある縄跳びのイラスト	相互に矛盾している。 (対応する17ページの縄跳びの色合いと不対応)	3-(1)				
2	45	吹き出し	右下のくりんの吹き出し「ぶろっくのうごきを えや ずに かいてみたよ。」	児童にとって理解し難い表現である。 (どこにブロックの動きが描いてあるのか分からない。)	3-(3)				
3	48	写真	左上の写真の「D a m l a」	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)				
4	67	図	「なるほど さんすう ごうるに たどりつけるかな」の経路図 ほか下巻31ページ「なるほど さんすう ゴールに たどりつけるかな」の経路図	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (経路が不明確なためどのように進んでいいか分からないので、ゴールにたどり着けないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)				
5	下巻 22	吹き出し	中のそうたさんの吹き出しの「チューリップを おろうと したら、さいしょ しかくだったけど、おると さんかくに なったり、しかくになったりするね。」	児童にとって理解し難い表現である。 (そうたさんの吹き出しの図の折り方で、どこで四角になるのか分からない。)	3-(3)				
6	22	吹き出し	下のゆいさんの吹き出しの「ながしかくを おって ひろげると、どんなかたちになるかな。」	児童にとって理解し難い表現である。 (折って広げたら元の状態に戻るの、何をしたいのか分からない。)	3-(3)				
7	23	10	□2⑥ 10-6+3	児童にとって理解し難い問題である。 (8行では「ひきさんを しましよ。」となっている。)	3-(3)				
8	59	側注	12行横の側注の「←50ページ」	児童にとって理解し難いページである。 (示されたページと12行の□3①、②との関連性が分からない。)	3-(3)				
9	63	吹き出し	中のゆいさんの吹き出しの「おんがくのじゅぎょうは、2じ23ぶんです。」	児童にとって理解し難い表現である。 (「音楽の授業」という継続した授業が時刻で表されていることが分からない。)	3-(3)				
10	78	吹き出し	右下のくりんの吹き出し「ずの かずや □を もとに しきを かこう。」	児童が誤解するおそれのある表現である。 (□を含んだ式を作ってもよいかのように誤解する。)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

2 枚中 1 枚目

受理番号 30-27		学校 小学校		教科 算数		種目 算数		学年 2	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	上巻 表見返	側注	目次の「2たし算」の側注の「1年たしざん 1年たしざんとひきざん」， ほか「3ひき算」の側注の「1年ひきざん 1年たしざんとひきざん」， 13ページ9行「1年・たしざん 1年	児童にとって理解し難い表現である。 (学習内容を示すのに、なぜ同じ用語を繰り返すのか分からない。)	3-(3)				
			・たしざんと ひきざん」， 29ページ9行「1年・ひきざん 1年 ・たしざんと ひきざん」						
2	2	吹き出し	右下の子供の吹き出し「このシートを つかって わかりやすく はっぴ ょうしよう。」	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (「このシート」がどこにあるか分からないので、 吹き出しで示された学習ができないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)				
3	58	図	中「9時15分を示している時計」から 出ている引き出し線	不正確である。 (時刻を表す直線と示している時刻がずれている。)	3-(1)				
4	74	写真	中左の写真の「200m」	児童にとって理解し難い記号である。 (「m」が何を表しているのか分からない。)	3-(3)				
5	99	吹き出し	右下のクリンの吹き出し「長さでは、 cmや mmのいくつか分であらわたね。」	不正確である。 (「cm」や「mm」は長さを表していない。)	3-(1)				
6	105	6	□2③ 2L=□mL	組織が適切でない。 (1000を超える数の学習は、下巻64ページから)	2-(12)				
7	126	3	⑤時こくと 時間 □1② 2時間= □分	組織が適切でない。 (57ページの学習に続いてこの問題を行うが、57ページ9行△1①の問題と同じ)	2-(12)				
8	147	左23	「3ひき算 133ページ ☆1②」の解答 の「ひく数が いちばん 小さくなるから。」	児童にとって理解し難い解答である。 (指摘事項に示された部分がなぜ解答として書かれているのか分からない。)	3-(3)				
9	付録2	囲み	付録の「算数で つかいたい ことば ・考え方」の左下の囲みの「5+0=0」	誤りである。	3-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

2 枚中 2 枚目

受理番号 30-27		学校 小学校		教科 算数		種目 算数		学年 2	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
10	下巻 46	吹き出し	右下のやまとさんの吹き出しの「ほかの だん」	児童にとって理解し難い表現である。 (「ほかの だん」が何を意味するのか分からない。)	3-(3)				
11	52	4	□1の④	組織が適切でない。 (②の問題と同じ)	2-(12)				
12	74	図	右上のゆなさんの説明の図に書かれた「 $2800=3000-200$ 」	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (簡単な場合の3位数の減法を超える計算)	2-(17)				
13	92	写真	「中の写真の右下吹き出しの図」及び「②の○ア, ○イ, ○ウの図」	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (正方形や長方形の面で構成される箱の形を超える学習)	2-(17)				
14	114	5 - 8	☆2の「かけ算の しきに 合うように ・を□で かこみましょう。」及び②の式と図	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (「 2×2 」を表す部分に「 \cdot 」がないので、どうやって囲ってよいか分からないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)				
15	114	5	☆2②の「 $4 \times 6 - 2 \times 2$ 」	児童にとって理解し難い式である。 (どのように計算するのか分からない。)	3-(3)				
16	118	側注	5行の発展的な学習内容を示すマークの下に書かれた「直方体」, 「立方体」 ほか11行の発展的な学習内容を示すマークの下に書かれた「直方体」, 「立方体」, 119ページ2行の発展的な学習内容を示すマークの下に書かれた「直方体」, 「立方体」	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (「直方体」, 「立方体」の意味が分からないので、学習指導要領の位置付けが理解できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)				
17	125	6 - 7	右のものさしの 1めもりの 長さは 1cmです。	不正確である。	3-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

1 枚中 1 枚目

受理番号 30-28		学校 小学校	教科 算数	種目 算数	学年 1
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
1	33	写真	右上の写真，及び吹き出し「かくしたおはじきはいくつかな。」	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (手のおはじきが見えず答えられないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)
2	47	4	こたえ 8ひき	相互に矛盾している。 (176ページ「もののかずのかぞえかた」では「8ひき」となっている。)	3-(1)
3	89	3	いろいろなかずをせいりしよう	色そのものを扱うことは学習指導要領に示す内容に照らして選択が不適切である。 (内容D(1)のア(ア)における「ものの個数について，簡単な絵や図などに表したり」に適さない。)	2-(1)
4	94	吹き出し	どんちゃんの吹き出し「はこのなまえをいわずにつたえられるかな。」	児童にとって理解し難い表現である。 (「はこのなまえ」が何を示すのか分からない。)	3-(3)
5	132	1 - 5	葉3	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (「えんぴつ」や「のり」を使った比較では，ぴったり何個分にならない場合もあるため，解答できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)
6	136	写真	葉6における水のかさを比較している写真	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (各コップに入っている水の量が等しいか不明で，比較することができないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)
7	153	1	□9 かずのつづきをかきましょう。	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず，また，発展的な学習内容であることが明示されていない。 (125まで書かせる問題)	2-(17)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

2 枚中 1 枚目

受理番号 30-29		学校 小学校		教科 算数		種目 算数		学年 2	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	上巻 12	吹き出し	ぐりちゃんの吹き出し「学級の人数は25人だよ。○の数は合っているかな。」他に、下巻99ページ△2, ぐりちゃんの吹き出し「日曜日から土曜日までの1週間の合計は何回になったかな。」	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (合計に対する考察)	2-(17)				
2	17	8 - 13	△3	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (複雑な時間を求める問題)	2-(17)				
3	28	図	はるのブロック図における結果をあらわす図	誤りである。	3-(1)				
4	44	吹き出し	はるの吹き出し「葉1と同じように、位ごとに数を分けて・・・。」	児童にとって理解し難い表現である。 (上の2つの考えでは「位ごとに数を分けて」おらず、かえでさんとみなとさんの考えをいまいましように合わない。)	3-(3)				
5	53	3 - 4	葉1 はるさんのしおりの長さをいろいろなものをつかってあらわしてみよう。	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (どれがはるさんのしおりか明確に示しておらず、しおりの長さを表せないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)				
6	73	吹き出し	下のぐりちゃんの吹き出し「ルールをかえて、500に近い数をつくったほうがかちにしてもいいよ。」	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (500より小さい数の場合に、どのくらい小さいかを求められず、どちらが「かち」か分からないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)				
7	86	8 - 9	② 赤いミニトマトのうち、15こをとりました。のこりは何こでしょうか。	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (①の問題で赤いミニトマトと青いミニトマトの合計もしており、どこからの「のこり」か分からず、解答できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)				
8	90	吹き出し	はるの吹き出し「3けたの数のたし算も位ごとに計算すればいいね。」	3けたの数のたし算に関する一般的なまとめは、学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容A(2)のア(ア), 及びア(イ))	2-(1)				
9	133	5 - 7	◇2	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (時間を数えるものがないので、時間を求めることができないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)				
10	下巻 23	写真	花1の「カルタあそび」の写真における「6×5」のカード、及び吹き出し「もう1まいあったよ。」	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (未習のかけ算が含まれているため、吹き出しの意味が理解できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

2 枚中 2 枚目

受理番号 30-29		学校 小学校	教科 算数	種目 算数	学年 2
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
11	60	吹き出し	下のゆきの吹き出し「そのわけを式でせつ明すると・・・。」	児童にとって理解し難い表現である。 (「その」がどれを指すのか分からない。)	3-(3)
12	61	囲み	下の囲みの「だったら!? 4×10や4×11の答えも同じきまりになっているのかな。」	児童にとって理解し難い表現である。 (下の囲みの中のきまりでは、合計9個のかけ算の1の位の間に成り立つきまりであるが、それを2個のかけ算で同じきまりになるかを調べることが分からない。)	3-(3)
13	63	1	「△3 九九の表を12まで広げましょう。」及び下の「かけ算の表」	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (2位数×2位数の部分)	2-(17)
14	69	吹き出し	けんとの吹き出しにおける「ほかのつなげ方でも作れそうだよ。」及び図	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (正方形や長方形の面で構成される箱の形を超える学習)	2-(17)
15	111	14 - 15	◇4における「また、1めもりの大きさが1000のとき、○あのめもりがあらわす数はいくつになるでしょうか。」	組織が適切でない。 (この問題は74ページの学習に続いて行われるが、「○あ」の表す数は75ページからの学習内容である。)	2-(12)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

1 枚中 1 枚目

受理番号 30-30	学校 小学校	教科 算数	種目 算数	学年 1
------------	--------	-------	-------	------

番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
1	25	イラスト	「8このおはじき」における②のイラスト	児童にとって理解し難いイラストである。 (左の子供の手の上のおはじきが見えず、あたったかどうか理解し難い。)	3-(3)
2	78	9	△3①「たしまししょう。」及び下の図の「14」と「6」	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (簡単な場合を超える2位数と1位数の加法)	2-(17)
3	125 - 126		なんぼんめ	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容A(2)のア(ア)の「減法の意味について理解し、それらが用いられる場合について知る事。」について扱いが不適切である。)	2-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

2 枚中 1 枚目

受理番号 30-31		学校 小学校		教科 算数		種目 算数		学年 2	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	上巻		図書の内容全体 及び下巻の図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容A(1)のア(オ)の「簡単な事柄を分類整理し、それを数を用いて表すこと。」が扱われていない。)	2-(1)				
2	45	図	「むかしのたんい」の右下の「つか」の図	不正確である。	3-(1)				
3	76	1	■1	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (75ページの右下の星の一部が隠れており数えることができないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)				
4	86	11 - 14	△3	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (図の中のどの数を比較するのか分からず解答できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)				
5	93	16	△3①	組織が適切でない。 (右上のかいとの吹き出しに答えがある。)	2-(12)				
6	105	吹き出し	だいちの左の吹き出しにおける 133+58=191の筆算	組織が適切でない。 (3位数と2位数の加法の筆算は111ページからの学習内容である。)	2-(12)				
7	下巻 72	3 - 5	■1	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (71ページの九九の表の空欄を埋める指示がなく、九九のきまりを調べられないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)				
8	77	8 - 12	「かいとさんの考え」の囲み	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (内容の取扱い(4)の「主に乗数が1ずつ増えるときの積の増え方～を取り扱う」に照らして、扱いが不適切である。)	2-(1)				
9	109	吹き出し	右下のえんぴつくんの吹き出し「もとの大きさを同じように8つに分けた1つ分は、1/8です。」 他に、110ページ2-3行「もとの大きさを同じように3つに分けた1つ分は、	不正確である。 (1/8や1/3の説明に何の1/8や何の1/3かが明確に示されていない。)	3-(1)				
			1/3です。」						

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

2 枚中 2 枚目

受理番号 30-31	学校 小学校	教科 算数	種目 算数	学年 2
------------	--------	-------	-------	------

番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
10	115	8	○ウ	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (時間を数えるものがないため、時間を求めることができないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)
11	128	12 - 15	△12	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (五角形についての学習)	2-(17)
12	129	11 - 12	△18	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (このような計算は未習のため、解答できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)
13	129	11 - 12	△18	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (簡単な場合を超える2位数と1位数の乗法)	2-(17)
14	131	13 - 15	△26	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (簡単な場合を超える3位数以上の減法)	2-(17)
15	133	図	△31①の方眼紙の図	誤りである。 (右の2つの長方形の横幅)	3-(1)
16	133	図	△31②の上の図	児童にとって理解し難い図である。 (高さの表示と横の引き出し線)	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

1 枚中 1 枚目

受理番号 30-34	学校 小学校	教科 算数	種目 算数	学年 1
------------	--------	-------	-------	------

番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
1	上巻 21	図	図の上から2段目中の「□/6\5」	組織が適切でない。 (20ページ右下の問題と同じ)	2-(12)
2	下巻 38	吹き出し	中右のこうたの吹き出し「10+6=16」	組織が適切でない。 (「10+6=16」の学習は44ページから)	2-(12)
3	44	8	△2②及び「鉛筆しき 18-10=□」	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (簡単な場合を超える2位数の減法)	2-(17)
4	111	囲み	□1の下の「やくそく」の囲みの②の「せんぶ」	誤記である。	3-(2)
5	119	吹き出し	右上のりくの吹き出しの「そらさんの1が よく わかるね。」	児童にとって理解し難い表現である。 (「1」が何を意味するのか分からない。)	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

1 枚中 1 枚目

受理番号 30-35	学校 小学校	教科 算数	種目 算数	学年 2
------------	--------	-------	-------	------

番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
1	上巻 9	11	□1② ○の 数は、クラスの 人数と 合っ て いますか。	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (合計に対する考察)	2-(17)
2	61	8	□7③のりくの「780=□-□」 ほか下巻62ページ8行「□7③のあみの「3800=□-□」」	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (簡単な場合の3位数の減法を超える計算)	2-(17)
3	123	20	○ト③90分前、④80分後	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (複雑な時刻を求める問題)	2-(17)
4	下巻 16	脚注	りくの台詞の「2とび」	児童にとって理解し難い表現である。 (「2とび」が何を意味しているのか分からない。)	3-(3)
5	33	吹き出し	中右のみさきの吹き出しの「5のだんの九九の 答えと、3のだんの九九の 答えを たせば…」 ほか35ページ中右のみさきの吹き出しの「5のだんの九九の 答えと、4の	学習指導要領の内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (内容の取扱い(4)の「主に乗数が1ずつ増えるときの積の増え方～を取り扱う」に照らして、扱いが不適切である。)	2-(1)
			だんの九九の 答えを たせば…。」		
6	61	1	木13の「いちばん 下の 数の線を見て 答えましょう。」 及び3行②, 4~5行③	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (「いちばん 下の 数の線」には「ア, イ, ウのめもり」や「3500, 7200」がないので、解答できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)
7	111	3 - 12	はってん3年□1 ほか13~23行「はってん3年□2」	学習指導要領に示す内容を発展的な学習内容として扱っている。 (内容の取扱いの(2)の内容)	2-(15)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

2 枚中 1 枚目

受理番号 30-56		学校 小学校	教科 算数	種目 算数	学年 3
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
1	上巻 11	台詞	右下のしほの台詞「ほかにもかけ算のきまりがあったよ。」	児童にとって理解し難い表現である。 (9～11ページで扱っている以外の掛け算の決まりが何か分からない。)	3-(3)
2	19	ノート	下のあみのノートの「13のだん」, 「14のだん」	児童にとって理解し難い表現である。 (「13のだん」, 「14のだん」が何を意味するのか分からない。)	3-(3)
3	95	2	「まとめ」の「数を10でわると、位が1つずつ下がる。」	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (1の位が0でない数の場合は整数の範囲では位を下げられないので、適応できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)
4	127	5	木8②の「いちばん近い」	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (「近い」の意味が不明なので、設問に答えられないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)
5	141	2 - 6	「10 わり算や分数を考えよう」の○ニ	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (未習の計算が含まれているので、解答できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)
6	145	1 - 2	□1の「3年生18人と4年生12人で、1つのはんが同じ人数になるように、はんをつくることになりました。」	児童にとって理解し難い表現である。 (どのように班の構成をするのか分からない。)	3-(3)
7	146	3 - 10	「7 わり算を考えよう」の□1	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (観点を決めて整数を類別する学習)	2-(17)
8	147	6	「8 10000より大きい数を調べよう」の□1③	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (500000より小さい数の場合に、どのくらい小さいかを求められないので、解答できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)
9	下巻 22 - 32		13 重さのたんいとはかり方	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容C(1)のイ(ア)の「単位の関係を統一的に考察すること」に照らして、「dL」が扱われていない。)	2-(1)
10	126	1	はってん 5年	不正確である。 (5年)	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

2 枚中 2 枚目

受理番号 30-56	学校 小学校	教科 算数	種目 算数	学年 3
------------	--------	-------	-------	------

番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
11	126	5 - 9	「14 分数を使った大きさの表し方を調べよう」の□2	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (異分母の分数の大小を比べることは学習していないので、解答できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)
12	126	5 - 9	「14 分数を使った大きさの表し方を調べよう」の□2	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (異分母の分数の大小を比べる問題)	2-(17)
13	127	1 - 13	「15 □を使って場面を式に表そう」の□1	発展的な学習内容であることが明示されていない。 (□などに数を当てはめて調べたりすることを超える学習)	2-(17)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

1 枚中 1 枚目

受理番号 30-57		学校 小学校		教科 算数		種目 算数		学年 4	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	上巻 11	9	1334000000000円	不正確である。 (かかった費用ではない。)	3-(1)				
2	82	図	11～14行横の図及び右下のしほの吹き出し「10倍すると、小数点が右に1けたうつり、1/10にすると、小数点が左に1けたうつるともいえるね。」	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容A(4)のア(イ)の「小数が整数と同じ仕組みで表されていることを知る」に照らして、小数の仕組みを小数点の移動を用いて説明することは扱いが不適切である。)	2-(1)				
3	94 - 95		そろばん	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容A(8)のイ(ア)の「大きな数や小数の計算の仕方を考えること。」に照らして、大きな数の加減がない。)	2-(1)				
4	135	5 - 11	③, ④	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (データ4, 5, 6がどのような調査の結果なのか示されていないので、設問に答えられないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)				
5	下巻 114	吹き出し	中のこうたの吹き出し「直方体の面と辺でも、垂直や平行の関係を考えることができるね。」	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (面と辺の平行は扱っていないので、面や辺の平行について考えることができないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)				
6	122	グラフ	データ3のグラフの「家の人の無事のかくにん」の人数の「105」	児童にとって理解し難い数値である。 (「100人がふく数回答」のデータとして)	3-(3)				
7	145	1 - 4	「10 分数をくわしく調べよう」の□1	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (簡単な場合について、大ききの等しい分数があることを知ることを超える学習)	2-(17)				
8	149	3 - 17 右	「9 四角形の特ちょうを調べよう」の□1①の解答	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (特別な四角形になるための条件の利用)	2-(17)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

1 枚中 1 枚目

受理番号 30-59	学校 小学校	教科 算数	種目 算数	学年 3
------------	--------	-------	-------	------

番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
1	表見返 -1	側注	「あとの学習」における「折れ線グラフ」, 「角度」	児童にとって理解し難い用語である。 (上の学年で学習する未習の用語)	3-(3)
2	107	7 - 8	また, 2つの時こくの中の時間は何分ですか。	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (それぞれの時刻が午前か午後か不明であるため, 解答できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)
3	123		薬3 外国のおつりのわたし方	発展的な学習内容であることが明示されていない。 (英語によるおつりの計算とその練習)	2-(17)
4	123	8 - 9	2 買い物ゲームをして, 上の店員さんのおつりをわたしてみましよう。	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (買い物の金額など「買い物ゲーム」のやり方についての具体的な説明が不足しており, 英語によるおつりのわたし方の活動ができないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)
5	123	8 - 9	2	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (英文を読解することができないため, 英語によるおつりのわたし方の活動ができないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)
6	156	図	10行下の左側にある一部を拡大した図	児童にとって理解し難い図である。 (何をしているのか分からない。)	3-(3)
7	213	3 - 7	□5	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず, また, 発展的な学習内容であることが明示されていない。 (数量を□などを用いて表す学習を超える学習)	2-(17)
8	255	26 - 27 右段	「p.225」の「□7」における「 4×250 」, 「 8×125 」	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず, また, 発展的な学習内容であることが明示されていない。 (乗数が3位数の計算)	2-(17)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 30-60		学校 小学校		教科 算数		種目 算数		学年 4	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	表見返 -1		「あとの学習」における「帯グラフ」 、「円グラフ」, 「角柱」, 「円柱」	児童にとって理解し難い用語である。 (上の学年で学習する未習の用語)	3-(3)				
2	27	9 側注	p. 24□2	児童にとって理解し難いページである。 (24ページに□2はない。)	3-(3)				
3	35	囲み	黒板上の「けん」との考えにおける「 はじめに10の束を分けて、」	相互に矛盾している。 (33ページの黒板上の「けん」との考えの記述と異なる。)	3-(1)				
4	51	図	△3における②, ③の図	児童にとって理解し難い図である。 (問題との関連が分からない。)	3-(3)				
5	53	11	△1 はかり方を考えて、ノートにか きましょう。	児童にとって理解し難い表現である。 (何をノートにかくのか分からない。)	3-(3)				
6	65	吹き出 し	2行下のラビちゃんの吹き出し「次の ページのエジプトの数字やローマ数字 のしくみとくらべながら考えてみよう 。」	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切 である。 (内容A(1)ア(ア)の「十進位取り記数法についての理 解を深めること。」に照らして、エジプトやローマ の数字は学習内容ではない。)	2-(1)				
7	66	吹き出 し	ゆいの吹き出し「2730をエジプトの数字 やローマ数字で表すと…」 他に、☆1におけるさくらの吹き出し	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておら ず、また、発展的な学習内容であることが明示され ていない。 (エジプトの数字やローマ数字に書き表し、その表 し方を調べる学習)	2-(17)				
8	72 - 73		1, 2の枠囲みにおける数を表す英単 語の上にある太字のカタカナ表記	児童にとって理解し難い表記である。 (何を表しているのか分からない。)	3-(3)				
9	73	吹き出 し	下のふくろう先生の吹き出し「百億や 千億はどんな読み方になるか予想して みよう。」	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておら ず、また、発展的な学習内容であることが明示され ていない。 (英語の数の読み方を答えさせる問題)	2-(17)				
10	77	15 - 18	鉛筆5 他に、79ページ15行鉛筆3④	組織が適切でない。 (2桁以上の数で割るわり算は127ページからの学習 である。)	2-(12)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

3 枚中 2 枚目

受理番号 30-60		学校 小学校		教科 算数		種目 算数		学年 4	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
11	107	7 - 8	長方形は平行四辺形の特別な場合で、正方形はひし形の特別な場合といふことができます。	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (四角形の包摂関係の学習)	2-(17)				
12	109	12 側注	p.105□2	児童にとって理解し難い番号である。 (□5の問題との関連が分からない。)	3-(3)				
13	133	10 脚注	[プラス・ワン p.236◇ト]	児童にとって理解し難いページである。 (236ページに◇トはない。)	3-(3)				
14	184	囲み	3行下のさくらさんの考えにおける長方形	相互に矛盾している。 (□1で与えられている長方形と異なる。)	3-(1)				
15	210	吹き出し	下のラビちゃんの吹き出し「p.34の筆算とくらべてみよう。」	児童にとって理解し難いページである。 (34ページに筆算はない。)	3-(3)				
16	220	側注	右上の側注「p.272□テ□ト」	児童にとって理解し難いページである。 (272ページの□テ、□トはない。)	3-(3)				
17	235	17	1	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (ステビンの方法で小数を書き表す問題)	2-(17)				
18	253	6 - 7	10)	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (商を1/10の位まで求めて余りも求める問題は未習であり、解答できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)				
19	258	17	◇キ⑦91÷7	組織が適切でない。 (この問題は37ページに続いて行われるが、直前の37ページ鉛筆2⑤と同じ問題である。)	2-(12)				
20	277	25 - 34 左段	「⑥直線の交わり方やならば方、四角形について調べよう」◇ウの解答	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (特別な四角形になるための条件の利用)	2-(17)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検定意見書

3 枚中 3 枚目

受理番号 30-60		学校 小学校		教科 算数		種目 算数		学年 4	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
21	280	5 右段	「ふくしゅうの答え」の「p.155」 1)②の解答	誤りである。	3-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

2 枚中 1 枚目

受理番号 30-66		学校 小学校		教科 算数		種目 算数		学年 3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	上巻 32	19	秒しんの動く速さ	児童にとって理解し難い表現である。 (秒針のどのような速さか分からない。)	3-(3)				
2	79	吹き出し	下のどんちゃんの吹き出し「ぼうグラフの合計の数が、表と合っているかたしかめよう。」	児童にとって理解し難い表現である。 (「ぼうグラフの合計」の意味が分からない。)	3-(3)				
3	140	11	◇6③60÷3	組織が適切でない。 (この問題は63ページに続いて行われるが、63ページ葉11と同じ計算である。)	2-(12)				
4	下巻 15	4 - 8	②	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (2位数や3位数に1位数や2位数をかける乗法を超える計算)	2-(17)				
5	20 - 32		11 重さ	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容C(1)イ(ア)の「単位の間隔を統合的に考察すること。」に照らして、「1cm」、「1dL」と他の単位との関係の考察がない。)	2-(1)				
6	31	5	重さに単位には、gやkgのほか、トンがあります。	児童にとって理解し難い表現である。 (「重さ」と「単位」の関係が分からない。)	3-(3)				
7	50 - 61		13 三角形	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容B(1)ア(ア)の「二等辺三角形、正三角形など～それらの関係に次第に着目すること。」に照らして、二等辺三角形、正三角形の関係に次第に着目す	2-(1)				
				ることが扱われていない。)					
8	63	5	□2の○い、○う	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (条件が不足しているため、解答できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)				
9	71	4 - 6	△1	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (2.4と24の大きさをくらべることと、5, 6行でのそれぞれの数を分解することの関連が分からず、大きさをくらべについて理解できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

2 枚中 2 枚目

受理番号 30-66		学校 小学校	教科 算数	種目 算数	学年 3
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
10	81	15 - 16	4+60=□だから、42+57の答えは□ぐらいになります。	児童にとって理解し難い表現である。 (なぜ、「4+60」から「42+57」の答えを予測するのか分からない。)	3-(3)
11	121	4	◇6	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (異なる分母を持つ分数の相等関係の学習)	2-(17)
12	127	12 左段	「◇6」の解答	不正確である。 (解答が不足している。)	3-(1)
13	129	図	「ふくしゅう⑥」の□5の解答における図	児童にとって理解し難い図である。 (図をかくことの指示が問題に無い。)	3-(3)
14	後ろ見返	脚注	左写真のキャプションのルビ「とあいえき」	不正確である。	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 30-67		学校 小学校		教科 算数		種目 算数		学年 4	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	上巻 19	14	これまでに学習した計算の式を、英語で言ってみましょう。	発展的な学習内容であることが明示されていない。 (英語による計算式を表現する活動)	2-(17)				
2	19	14	これまでに学習した計算の式を、英語で言ってみましょう。	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (下の15行から17行の内容や吹き出しだけでは例示が不足しており、英語で言うことができないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)				
3	23	17	□4 ④ $800 \div 4$	組織が適切でない。 (3けた \div 1けたの計算は、31ページからの学習である。)	2-(12)				
4	57	表	□2①の表における項目名「気温」	誤りである。	3-(1)				
5	63	1 - 2	△4	組織が適切でない。 (62ページ下の「分度器の使い方166ページ」で分度器の使い方を学習するが、166ページで○あの角度ははかっている。)	2-(12)				
6	69	13	はってん 5年	不正確である。 (5年)	3-(1)				
7	129	1 - 3	□11	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (条件が不足しているため、解答できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)				
8	137	24	とちゅうの計算を何だんかに分けて書くときは、＝をたてにそろえます。	児童が誤解するおそれのある表現である。 (必ず「＝」をたてにそろえなければならぬと誤解するおそれがある。)	3-(3)				
9	156	吹き出し	ぐりちゃんの吹き出し「どんなきまりで数を表しているかな。」及び、157ページ1～8行の「古代エジプトの数字で表してみよう!」	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (古代のバビロニアの数字のきまりを考えたり、古代エジプトの数字で数を表したりする学習)	2-(17)				
10	157	6	「この表し方を使って、次の①、②の大きさを表しましょう。」の問題における「②日本の人口127975000(人)」	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (最大の100万の記号を何個使ってよいのか分からず、解答できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 30-67		学校 小学校		教科 算数	種目 算数	学年 4
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
11	159	7 - 8	2つの三角定規を組み合わせて、 165° の作り方も考えてみましょう。	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (作るための条件が不明で、考えることができないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)	
12	163	1 - 2 左段	「7 垂直, 平行と四角形」の◇3 ①, ②の解答	不正確である。 (解答が不足している。)	3-(1)	
13	170	図	「①整数や小数のしくみ (3年)」における中央右段の「24」と「2.4」の10倍, 1/10の関係を示す図	不正確である。 (「3年」に対応しない。)	3-(1)	
14	下巻 4	吹き出し	中央左のかえでの吹き出し「広さのちがいは□の部分だね。」	児童にとって理解し難い表現である。 (「□の部分」がどこか分からない。)	3-(3)	
15	12	図	「1辺の長さ」が「10m」に対応する面積「 100cm^2 」	誤りである。	3-(1)	
16	40	13 - 15	ある飛行機を1/1000の大きさにしたミニチュアの長さをはかったら0.07mでした。	児童にとって理解し難い表現である。 (どこが1/1000の大きさか分からない。)	3-(3)	
17	45	囲み	「 $1.3+1.62$ の筆算のしかた」の中央の計算の説明「整数のたし算と同じように計算する。」 他に、48ページ「 $6.4-1.73$ の筆算のしかた」の中央の計算の説明「整数のひ	児童にとって理解し難い表現である。 (整数の計算では、右端が揃っていない計算はないため、「同じように計算する」ことが分からない。)	3-(3)	
			き算と同じように計算する。」			
18	48	6	□19 ⑤ $1.06-9.86$	児童にとって理解し難い計算である。 (計算できない。)	3-(3)	
19	72	17	1辺の長さが5cmの立方体	組織が適切でない。 (「立方体」は94ページからの学習内容である。)	2-(12)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

3 枚中 3 枚目

受理番号 30-67		学校 小学校	教科 算数	種目 算数	学年 4
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
20	116	3	上の正方形〇い，〇うにそれぞれ等分のめもりをかいて，	児童にとって理解し難い表現である。 (「等分のめもり」はすでにかかっている。)	3-(3)
21	137	9 - 10	◇7	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず，また，発展的な学習内容であることが明示されていない。 (複雑な平方根を求める問題)	2-(17)
22	144	3 - 4	「面アイクキ」及び「面アイウエオカ」	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (「自分で取り組むページ」である「ステップアップ算数」において，未習の面の表し方を使って問題を出しているため，解答できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)
23	144	7	◇5②この直方体の3つの辺の長さは何cmになるでしょうか。	児童にとって理解し難い表現である。 (どの3つの辺か分からない。)	3-(3)
24	144	8	たて30cm，横45cm，高さ7cmの箱	児童にとって理解し難い表現である。 (箱のたて，横，高さの説明が無く分からない。)	3-(3)
25	146	脚注	学びのマップ 161ページ ⑬四角形	児童にとって理解し難いページである。 (「161ページ」と「⑬四角形」との関連が分からない。)	3-(3)
26	162	図	「①整数や小数のしくみ (3年，4上)」における中央右段の「24」，「2.4」の10倍，1/10の関係を示す図	不正確である。 (「3年，4上」に対応しない。)	3-(1)
27	163	囲み	「⑦わり算の筆算 (4上)」の「385÷12の筆算」における「①商がたつ位を決める。」と「②商の見当をつける。」に対応する下の枠囲みの計算	不正確である。 (①，②の説明と下の枠囲みの計算が対応していない。)	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

1 枚中 1 枚目

受理番号 30-75		学校 小学校		教科 算数		種目 算数		学年 3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	上巻 17	吹き出し	左のひなたの吹き出しの「0のだん」 他に、右のだいちの吹き出しの「10のだん」	児童にとって理解し難い表現である。 (何を意味するのか分からない。)	3-(3)				
2	62	2 - 3	大阪市に、入館者数が80000000人をこえた水族館があります。	不正確である。 (80000000人)	3-(1)				
3	89	図	ぼうグラフ新聞の上の段、左から3,4行「このけっかをアンケートに表そうと思いましたが、」	児童にとって理解し難い表現である。 (結果をアンケートに表すとはどういうことなのか分からない。)	3-(3)				
4	93	14	□こ	不正確である。 (「こ」)	3-(1)				
5	113		あまりの数を使って	発展的な学習内容であることが明示されていない。 (観点を決めて整数を類別する学習)	2-(17)				
6	下巻 35	8	はってん	学習指導要領上の位置付けが明示されていない。	2-(17)				
7	46	11	はってん5年	不正確である。 (「5年」)	3-(1)				
8	107	6 - 8	□2	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (与えられた条件では起きる時刻や寝る時刻が決まらず、解答できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)				
9	136	26 左	直径……………5, 11ページ	誤りである。 (「5」)	3-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

2 枚中 1 枚目

受理番号 30-76		学校 小学校		教科 算数		種目 算数		学年 4	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	上巻 61	13	→148ページ△27△28	児童にとって理解し難いページである。 (148ページに△27△28はない。)	3-(3)				
2	71	図	△7の下の図	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (どのように折っているのか分からず活動できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)				
3	85	2 - 4	向かいあう辺の長さや平行かどうかで、いろいろな四角形に分けられることがわかりました。	児童にとって理解し難い表現である。 (辺の長さが何なのか、何が平行なのか分からない。)	3-(3)				
4	91	14	42◎1①9②5	不正確である。 (小数の表し方)	3-(1)				
5	99	2	①正三角形を思いうかべる。	児童にとって理解し難い表現である。 (何をするのか分からない。)	3-(3)				
6	128 - 131		2 計算のきまり	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容A(7)のア(ア)の「四則に関して成り立つ性質」に照らして、小数の加法に関して成り立つ性質の扱いがない。)	2-(1)				
7	147	5 - 6	△16	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (簡単な計算を超える暗算)	2-(17)				
8	147	11	② 700040009000	組織が適切でない。 (この問題は55ページの学習に続いて行われるが、百億以上の数は56ページからの学習内容である。)	2-(12)				
9	159	吹き出し	左下のかいとのかき出し	児童にとって理解し難い表現である。 (「だから、,」)	3-(3)				
10	下巻 29	吹き出し	中央右のえんぴつくんの吹き出し「電たくで答えを出してくらべてみましょう。」	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (電卓での商が小数となるが、商が小数となるわり算は未習であるため、電卓で出された答えの意味が理解できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

2 枚中 2 枚目

受理番号 30-76		学校 小学校		教科 算数		種目 算数		学年 4	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
11	41	6 - 10	ひなたの計算の仕方の囲み	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (未習の除法の性質を利用しているため、理解できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)				
12	48	図	●イの左下の筆算	児童にとって理解し難い筆算である。 (●イの $6 \div 9$ との対応が分からない。)	3-(3)				
13	75	6	$11/4$ の商とあまりを考えます。	児童にとって理解し難い表現である。 (分数の商と余りの意味が分からない。)	3-(3)				
14	83	8 - 14	学びをいかそう	発展的な学習内容であることが明示されていない。 (簡単な場合について、大きさの等しい分数があることを知ることを超える学習)	2-(17)				
15	93	吹き出し	右下の子供の吹き出し「6と2…… ○あ $8 + \bigcirc = \triangle$ 」 「○いの式です。」	児童にとって理解し難い表現である。 (どのように考えて「○いの式です。」という答えを導き出したのか分からない。)	3-(3)				
16	98	図	下の展開図	児童にとって理解し難い図である。 (右上の直方体との関係が分からない。)	3-(3)				
17	110	7 - 8	・県で1年間に出生されたごみの量……約142万t ・1人が1日に出したごみの量……約994g	相互に矛盾している。 (「ごみ」が示す意味が異なる。)	3-(1)				
18	133	6 - 10	$\triangle 60$	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (東西南北4つの要素で平面の位置を表すこと)	2-(17)				
19	139	32 左	$\triangle 44$ の解答「0.1875L」	不正確である。 (「L」)	3-(1)				
20	142	20 左	四捨五入……20ページ	誤りである。	3-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 30-91		学校 小学校		教科 算数		種目 算数		学年 3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	上巻 2	吹き出し	右下の子供の吹き出し「このシートを使ってわかりやすく発表しよう。」	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (「このシート」がどこにあるのか分からないので、吹き出しで示された学習ができないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)				
2	10		得点をもとめられるかな	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (何個のおはじきで「おはじき入れ」をするのか分からないので、自分の成績を付けられないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)				
3	29	写真	右上の写真の「D a m l a」	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)				
4	89	14 - 18	□4	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (問題文と図との対応が分からないので、解答できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)				
5	90	23	3フィート=12インチ	誤りである。	3-(1)				
6	98	10	②1005677人…生まれた子どもの数(2016年) ほか11行「③13515271人…東京都の人口(2017年)」	不正確である。 (数値と対応する年号)	3-(1)				
7	98	22	しっかりチェック 137ページ □2	児童にとって理解し難い番号である。 (98ページの内容と137ページの□2との関連性が分からない。)	3-(3)				
8	133	18	□6⑤ 24÷3	組織が適切でない。 (32ページの学習に続いてこの問題を行うが、32ページ13行△4②の問題と同じ)	2-(12)				
9	143	13	はってん	学習指導要領上の位置付けが明示されていない。	2-(17)				
10	149	5 - 7	①	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (問題で与えられた図にどのようにかき込むか分からないので、解答できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 30-91		学校 小学校		教科 算数	種目 算数	学年 3
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
11	153	31 右	⑦大きい数 137ページ □5③ 5600000	誤りである。	3-(1)	
12	154	17 - 18 左	4 たし算とひき算 140ページ ☆2①, ②の解答	不正確である。 (計算結果がない。)	3-(1)	
13	155	図	左の「はかり方のくふう 148ページ 1 ①」の解答の図	児童にとって理解し難い図である。 (どのような手順になっているのか分からない。)	3-(3)	
14	下巻 19	吹き出し	中のクリンの吹き出しの「筆算では、 下のようにかくんだっだね。」	児童にとって理解し難い表現である。 (どの筆算のことを示しているのか分からない。)	3-(3)	
15	70	囲み	下の囲みの「二等辺三角形のかき方」 の④の「2つの円を交わったところを」	児童にとって理解し難い表現である。 (2つの円をどうするのか分からない。)	3-(3)	
16	89	図	10～11行の□2の右の筆算の図	児童にとって理解し難い図である。 (何のためにあるのか分からない。)	3-(3)	
17	97	17	△4② $39 - \square = 21$	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (逆算で求めることができない形式的に解く問題なので、解答できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)	
18	120	3	3行左の「方程式」	児童にとって理解し難い用語である。 (上の学年で学習する未習の用語)	3-(3)	
19	121	2	☆1の「正三角形」 ほか中右のクリンの吹き出しの「正三角形」	組織が適切でない。 (121ページの「ぐっとチャレンジ」は62ページに引き続いて学習してもよい指示があるが、「正三角形」の学習は66ページから)	2-(12)	
20	127	1 - 18	2, 3, 4	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (大きさの異なる2つの円の位置関係の学習)	2-(17)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

3 枚中 3 枚目

受理番号 30-91	学校 小学校	教科 算数	種目 算数	学年 3
------------	--------	-------	-------	------

番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
21	129	囲み	中左上の囲みの「1こ20円のためを買います。代金は何円ですか。」	児童にとって理解し難い問題である。 (指摘事項と指摘事項下の説明との関係が分からない。)	3-(3)
22	131	32 左	「13 分数 121ページ」の解答の2つ目の☆1	児童にとって理解し難い解答である。 (どの問題の解答か分からない。)	3-(3)
23	131	15 - 17 右	1①の下の「②, ③, ④」	児童にとって理解し難い解答である。 (どの問題の解答か分からない。)	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

2 枚中 1 枚目

受理番号 30-92		学校 小学校	教科 算数	種目 算数	学年 4
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
1	上巻 2	吹き出し	右下の子供の吹き出し「このシートを使ってわかりやすく発表しよう。」	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (「このシート」がどこにあるのか分からないので、吹き出しで示された学習ができないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)
2	42	吹き出し	右下のゆうとさんの吹き出しの「時間」	不正確である。	3-(1)
3	64	9	△4の「□3の○カの角度が150° のとき」	児童にとって理解し難い表現である。 (角度が150° のとき、図がどうなるのか分からない。)	3-(3)
4	71	7	□2① 1直線=□°	児童にとって理解し難い表現である。 (どの角度のことか分からない。)	3-(3)
5	91	4	□2②	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (②で与えられた図だけでは条件が不足しているので、図が描けないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)
6	92 - 94		6 そろばん	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容A(8)のイ(ア)の「大きな数や小数の計算の仕方を考えること。」に照らして、小数の扱いが不足している。)	2-(1)
7	95	14 - 15	◇4	組織が適切でない。 (小数第二位の学習は98ページから)	2-(12)
8	100	5 - 7	① 右の図の○カのかさは、0.01のいくつ分で、何Lと表せますか。	不正確である。 (単位が不足している。)	3-(1)
9	100	13	△1①	組織が適切でない。 (10行横の図に答えが示されている。)	2-(12)
10	120	図	8行と9行の間の図	相互に矛盾している。 (「515」付近の図の色が不对応)	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

2 枚中 2 枚目

受理番号 30-92		学校 小学校		教科 算数		種目 算数		学年 4	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
11	139	5 - 12	☆3	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (9の倍数を見分ける学習)	2-(17)				
12	付録2	吹き出し	中左の吹き出しの「もし、大きな正方形だったら」と考えて、まず全体の長方形の面積を求めてから」	児童にとって理解し難い表現である。 (初めの「正方形」と次に出てくる「長方形」の関係が分からない。)	3-(3)				
13	下巻 80	写真	右下の色鉛筆の写真の「T o m b o w」	特定の営利企業の宣伝になるおそれがある。	2-(7)				
14	93	1 - 9	□7及び△5	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (簡単な場合について、大きさの等しい分数があることを知ることを超える学習)	2-(17)				
15	105	吹き出し	中右のゆあさんの吹き出し「わられる数を10倍して考えました。」及びゆあさんの吹き出し下の囲み	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (未習の割り算の性質を利用しているので、内容が理解できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)				
16	126	吹き出し	右下のクリンの吹き出し「テレビとうは、駅から東へ600m行って、北へ400m行ったところだね。」及び127ページ右上の図	児童にとって理解し難い表現や図である。 (どうして長さが分かったのか分からない。)	3-(3)				
17	130	7 - 12	①	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (「正しいもの」が何を示しているのか分からないので、解答できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)				
18	131	2 - 3	とび出す部分が2つあり、それぞれが同じ大きさと形の長方形になるようにつくりたい	児童にとって理解し難い表現である。 (それぞれがどの長方形のことを示しているのか分からない。)	3-(3)				
19	157	2 - 4 右	1mを3等分した1つ分の長さを、1mの三分の一といい、1/3とかきます。	不正確である。 (1mの三分の一は長さを表す。)	3-(1)				
20	159	2	下の問題の場面を表しています。	児童にとって理解し難い表現である。 (何が下の問題の場面を表しているのか分からない。)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 30-95		学校 小学校		教科 算数	種目 算数	学年 3
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	上巻 6	表	下の「しりょうの島」の「同じなかまに分けると、くらべやすい。」の下の表	不正確である。 (第2学年で扱う内容ではなく、5ページの表題「2年生で見つけた考え方」に対して不正確である。)	3-(1)	
2	12	6 - 10	③	児童にとって理解し難い表現である。 (二人の考えは7×6の場合だけではない。)	3-(3)	
3	15	4	$\square \times 6 + \square \times 6$ 他に、5行「 $7 \times \square + 7 \times \square$ 」、11行「 $7 \times 5 + 7 \times \square$ 」、下巻81ページ15行▲3②「 $13 \times 2 + 37 \times 2$ 」	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (加減乗除の計算順序は未習なので、意味を正しく理解できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)	
4	15	7 - 8	12ページで学習した「かけ算のきまり①」は、前のページの「かけ算のきまり③」と同じ考え方である	児童にとって理解し難い表現である。 (どうして同じ考え方と言ってよいのか分からない。)	3-(3)	
5	31	9 - 10	② 他に、14-17行「深めたいな」	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (遊具やイベントにかかる時間についての条件が不足しており、解答できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)	
6	31	14 - 17	深めたいな	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (複雑な場合の数を考える問題)	2-(17)	
7	54	1	発てん 他に、58ページ1行「発てん」	学習指導要領上の位置付けが明示されていない。	2-(17)	
8	57	18 - 20	■5 及び右下のひろとの吹き出し	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (観点を決めて整数を類別する学習)	2-(17)	
9	59		なるほど!算数 9でわったときのあまりのひみつ	発展的な学習内容であることが明示されていない。 (観点を決めて整数を類別する学習)	2-(17)	
10	59	囲み	右下の赤いロボットの囲みの「カードの数の十の位と一の位をたした数が、9でわったときのあまりになっています。」	不正確である。 (足した数が9, 10, 11のとき、9で割ったときの余りになっていない。)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 30-95		学校 小学校		教科 算数		種目 算数		学年 3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
11	59	囲み	右下の赤いロボットの囲みの「たした数が2けたのときは、もう一度たしてもとめよう。」	児童にとって理解し難い表現である。 (足した数が2桁のとき、何をもう一度足すのか分からない。)	3-(3)				
12	74	5	■1③ 7008+4995	組織が適切でない。 (10000を超える数は、下巻4ページからの学習内容である。)	2-(12)				
13	85	表	■1の9時から9時5分の記録の表における「その他」	児童にとって理解し難い表現である。 (設定する意味が分からない。)	3-(3)				
14	85	表	▲1の9時から9時10分の記録の表	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (「その他」についての説明がなく、表の作り方が分からないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)				
15	94	グラフ	■1のグラフ	不正確である。 (表題がない。)	3-(1)				
16	99	7 - 23	■2及び■3	組織が適切でない。 (何十をかけるかけ算は下巻73ページからの学習内容である。)	2-(12)				
17	139	表	左上の⑥表とグラフの■1の解答の表	不正確である。 (134ページの問題では、合計欄の記入は指示されていない。)	3-(1)				
18	141	吹き出し	下のななみの吹き出しの「10のだん」「11のだん」	児童にとって理解し難い表現である。 (何を意味するのか分からない。)	3-(3)				
19	下巻 表見返 -1	グラフ	数えたい、まとめたのグラフ	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (どのようにグラフを読めばよいのか分からず、何を読み取ればよいのか分からないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)				
20	表見返 -1		数えたい、まとめた	発展的な学習内容であることが明示されていない。 (棒グラフの特徴やその用い方を理解することを超える学習)	2-(17)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

4 枚中 3 枚目

受理番号 30-95		学校 小学校		教科 算数		種目 算数		学年 3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
21	8	15	▲3① 13062281人	不正確である。	3-(1)				
22	15	吹き出し	左上のひろとの吹き出し	児童にとって理解し難い表現である。 (何が反対なのか分からない。)	3-(3)				
23	17	8	▲4	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (4位数を超える加法)	2-(17)				
24	26	図	②の3番目の図	不正確である。 (折り目の位置)	3-(1)				
25	26	10	円をおってできた2本のおり目の線の交わった点が、円の中心になります。	不正確である。 (折り目によっては、交点は中心にはならない。)	3-(1)				
26	33	囲み	一番下の囲みのノートの5行目「半径…中心から円のまわりまで」	児童にとって理解し難い表現である。 (「まで」からどうなるのか分からない。)	3-(3)				
27	34	14 - 17	■4	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (問題の図がどのような図か分からず解答できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)				
28	34	14 - 17	■4 他に、35ページ14-16行■4	児童にとって理解し難い表現である。 (箱のたて、横、高さの説明がなく分からない。)	3-(3)				
29	45	12	▲4の「次の長さ」 他に、16行▲5の「次の長さ」	児童にとって理解し難い表現である。 (次の長さが何を指すのか分からない。)	3-(3)				
30	67	11	正三角形は、二等辺三角形とみることもできます。	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (三角形の包摂関係の学習)	2-(17)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

4 枚中 4 枚目

受理番号 30-95		学校 小学校		教科 算数		種目 算数		学年 3	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
31	70 - 71		活動!!	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (料金、代金の設定が分からず解答できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)				
32	89	17	▲6①	組織が適切でない。 (上の▲5の右の図と同じ問題である。)	2-(12)				
33	89	図	▲6③の図	不正確である。 (目盛り)	3-(1)				
34	107	表	10倍、100倍、1000倍が書かれてある表 他に、112ページ■1⑤の表	不正確である。 (単位そのものは量を表していない。)	3-(1)				
35	123	3 - 20	■1	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (□として何を設定するのか示されておらず解答できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)				
36	134	22	■9⑨ 1km=□m	組織が適切でない。 (18行の①と同じ問題である。)	2-(12)				
37	140	5 - 9	クイズ①	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (入り口、出口がどちらか分からず解答できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)				
38	140	12 - 14	クイズ②	児童にとって理解し難い問題である。 (ペットボトルにはいろいろな種類があり、どのように比較するのか分からない。)	3-(3)				
39	141	グラフ	クイズ④の下の中、右の棒グラフ	不正確である。 (グラフの縦軸)	3-(1)				
40	141	グラフ	クイズ④の棒グラフ	学習上必要な年次が示されていない。	2-(10)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

4 枚中 1 枚目

受理番号 30-96		学校 小学校	教科 算数	種目 算数	学年 4
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
1	上巻 14	21	「クアドリリオン」, 「トリリオン」, 「ビリオン」, 「ミリオン」, 「サウザンド」	児童にとって理解し難い表現である。 (上の数との対応が分からない。)	3-(3)
2	16	10 - 14	なるほど!算数 1000兆より大きい位	発展的な学習内容であることが明示されていない。 (1000兆より大きい位の学習)	2-(17)
3	17	16 - 17	▲1②	児童にとって理解し難い表現である。 (なぜ100億を2つに分けるのか分からない。)	3-(3)
4	18	側注	右上側注の「見方・考え方」	誤りである。 (「12億」)	3-(1)
5	35	ノート	ノートの3行目の「新潟」の「潟」の漢字 他に, 4箇所	誤りである。	3-(1)
6	35	ノート	ノートの下から3行目「オークンド」	誤りである。	3-(1)
7	52	12 - 15	なるほど!算数 暗算	児童にとって理解し難い表現である。 (問題と吹き出し, 解答例の対応が分からない。)	3-(3)
8	63	2	▲1	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (右の図の辺の長さが短いため, 下の「分度器の使い方」の(3)にあるようには分度器の目盛りを読むことができないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)
9	73	6	ななみさんの考えの囲みの 「 $360^\circ \div 12 \times 4 = 120^\circ$ 」	組織が適切でない。 (2桁で割る割り算は118ページからの学習内容である。)	2-(12)
10	92	図	右上の▲9の図	不正確である。 (▲8でかいたひし形と大きさが異なる。)	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 30-96		学校 小学校		教科 算数		種目 算数		学年 4	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
11	96	吹き出し	上の4つの吹き出し	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (四角形の包摂関係の学習)	2-(17)				
12	96	7	発てん	学習指導要領上の位置付けが明示されていない。	2-(17)				
13	110	2 - 11	▲2 他に、13-15行▲3, 17-18行▲4	組織が適切でない。 (2桁以上の数で割る割り算や割り算の決まりは118ページからの学習内容である。)	2-(12)				
14	115	24 - 28	■3③	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (周りの長さと言葉を使い分ける意味が分からず、解答できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)				
15	115	24 - 28	■3③	組織が適切でない。 (2桁の数で割る割り算は118ページからの学習内容である。)	2-(12)				
16	115	24 - 28	■3③	組織が適切でない。 (上から1桁の概数にすると、割り進みが必要となるが、それは下巻72ページからの学習内容である。)	2-(12)				
17	131	16 - 17	わられる数とわる数の一の位や十の位に0があるわり算では、それぞれの0を同じ数だけ消して計算することができます。	児童が誤解するおそれのある表現である。 (一の位が0でなくても十の位の0を消して計算できると誤解するおそれのある表現である。)	3-(3)				
18	133		なるほど!算数 いろいろな国のわり算	発展的な学習内容であることが明示されていない。 (外国の筆算を説明したり計算したりする学習)	2-(17)				
19	159	表	⑦が数■2⑤の解答	誤りである。	3-(1)				
20	下巻 表見返	6 - 8	右の図は、1940年から2017年間の日本のそれぞれの都市の気温を調べて表したものです。 他に、1ページのグラフの表題「それぞれの都市の年別気温の変化」	児童にとって理解し難い表現である。 (右の図には都市名で無いものが含まれている。)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 30-96		学校 小学校		教科 算数		種目 算数		学年 4	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
21	1	グラフ	それぞれの都市の年別気温の変化	不正確である。 (沖縄のグラフ)	3-(1)				
22	2	19	筆算のしかたを考えよう	相互に矛盾している。 (65ページ2行と不对応。)	3-(1)				
23	11	16	合わせて□km	誤りである。 (「km」)	3-(1)				
24	30	20	▲1②	誤りである。	3-(1)				
25	59	10 - 11	式□ 及び「答え□cm ² 」	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (問題が不明で解答できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)				
26	59	図	左下の黄色い平行四辺形の図 及び吹き出し「こんな平行四辺形の面積も求められるのかな？」	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (平行四辺形の面積の学習)	2-(17)				
27	77	側注	■1の側注「□小数×整数, 小数÷整数のしくみがわかる。□小数×整数, 小数÷整数の計算ができる。」	児童にとって理解し難い表現である。 (■1の問題には小数÷整数の問題しかない。)	3-(3)				
28	89	6	1Lと□/□→1□/□	不正確である。 (単位がない。)	3-(1)				
29	95	9 - 10	分数部分どうしの和が仮分数になったときは、帯分数になおします。	児童にとって理解し難い表現である。 (帯分数になおしたあと、どうするのか分からない。)	3-(3)				
30	107	17 - 21	▲2	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (右端の立体がどのような立体か分からず、解答できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

4 枚中 4 枚目

受理番号 30-96		学校 小学校		教科 算数		種目 算数		学年 4	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
31	107	17 - 21	▲2	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (立方体、直方体を超える学習)	2-(17)				
32	113	9	(2,12) 他に、10行「(4,10)」, 114ページ5行「(3,1,2)」, 10行「(4,1,3)」, 116ページ20行「(4,2)」, 117ページ14-16行「A(1,1,4) E(1,1,0) F(6,1,0)	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (座標の学習)	2-(17)				
			G(6,4,0) H(1,4,0)」, 156ページ右12行「(4,8)」, 右16行「(5,2)」, 右17行「(9,4)」, 159ページ左11行「(2,5)」, 「(6,6)」, 「(8,9)」						
33	129	13 - 15	▲1	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (簡単な場合を超える割合)	2-(17)				
34	132	グラフ	東京の気温と一家族がアイスクリームに使う金がかく	学習上必要な年次が示されていない。	2-(10)				
35	145	2 - 3	?ゆいさんがデザインしたゴミ箱のてん開図を自分で大きさを決めてかいてみましょう。また、自分でもゴミ箱をいろいろデザインして、てん開図もかいてみましょう。	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (立方体、直方体の展開図を超える学習)	2-(17)				
36	145	吹き出し	だいきの吹き出しの「全国の学校で、1人あたり年間約17kgの食べ残しがあるみたい。」	不正確である。 (約17kgの食べ残し)	3-(1)				
37	145	吹き出し	だいきの吹き出しの「全国の学校で、1人あたり年間約17kgの食べ残しがあるみたい。」	児童にとって理解し難い表現である。 (どの学校まで含むのか分からない。)	3-(3)				
38	145	7 - 8	?左の図で、それぞれの文ぼう具の位置を、クロックポジションを使って、説明しましょう。	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (どのように時計の文字板に例えて説明するのか分からないため、説明できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 30-130		学校 小学校		教科 算数	種目 算数	学年 5
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	上巻 44	吹き出し	□2の左下のしほの吹き出し「パイプの重さは、長さに比例するから…。」	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容C(1)のア(ア)の「簡単な場合について、比例の関係があることを知ることに照らして、比例の関係を表を用いずに考察することは、扱いが不適切である。)	2-(1)	
2	44	吹き出し	□2の左下のしほの吹き出し「パイプの重さは、長さに比例するから…。」	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (簡単な場合を超える比例の学習)	2-(17)	
3	110 - 119		9 分数と小数、整数の関係	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容A(4)のイ(イ)の「分数の意味をまとめること。」に照らして、扱いが不適切である。)	2-(1)	
4	122	囲み	中右の「データ2」	児童にとって理解し難い表現である。 (帯グラフと表題との対応)	3-(3)	
5	122	9 - 12	①(みさきの吹き出しを含む) ほか13～15行②及び123ページ上のはるとの吹き出し	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (一次関数とみなして変化の割合を利用する問題)	2-(17)	
6	142	7 - 15	はってん □2	発展的な学習内容には該当しない。	2-(15)	
7	144	2 - 4	「4 かけ算の世界を広げよう」の□1	発展的な学習内容であることが明示されていない。 (立方根を求める学習)	2-(17)	
8	下巻 23	囲み	5行の「まとめ」の下のオレンジ色の囲み「どのオレンジも80mLしぼることができるとして、ジュースの量の合計は個数に比例すると考えるんだね。」ほか30ページ下のあみの吹き出しの「面積とうさぎの数は比例すると考えて」 31ページ右下のますりんの台詞の「面積とうさぎの数は比例すると考えて」	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (簡単な場合を超える比例の学習)	2-(17)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

2 枚中 2 枚目

受理番号 30-130		学校 小学校	教科 算数	種目 算数	学年 5
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
9	71		ますりん通信 0.5の割合で入るシュートのうまさ	発展的な学習内容であることが明示されていない。 (簡単な場合を超える比例の学習)	2-(17)
10	127	囲み	データ3, データ4, データ5の円グラフや表に記載されている「水面・河川・湖等」	児童にとって理解し難い表現である。 (「水面」と「湖等」の違いが分からない。)	3-(3)
11	131	9	木17③	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (与えられた角柱の底面に関する条件が不足しているので、この角柱の展開図が描けないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)
12	143	図	右下の「18 立体をくわしく調べよう△ニ③」の解答例の図	児童にとって理解し難い図である。 (141ページの設問の条件だけでは、なぜこのような展開図になるのか分からない。)	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 30-131		学校 小学校		教科 算数		種目 算数		学年 6	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	3	3 - 5	④ (りくの吹き出しを含む) ほか7~9行「まとめ」 5ページのノート全体	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (文字式を利用した説明)	2-(17)				
2	31	10	$a \div b = a/b$	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (整数以外の数を含む分数の形の表示)	2-(17)				
3	161	8 - 9	木1③	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (選択肢の中に未習の反比例のグラフが含まれているので、解答できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)				
4	172	5 - 7	③	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (複雑な場合の数を求める問題)	2-(17)				
5	181	1 - 2	□2②	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (範囲の計算)	2-(17)				
6	194	5	木1②の「最頻値」	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (最も多く出てくる値が複数ある場合の最頻値の扱いが示されていないので、解答できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)				
7	199	側注	16行の木4の横の側注の「4年」	児童にとって理解し難い学年である。 (指摘事項の学年と木4の問題との関連性が分からない。)	3-(3)				
8	201	側注	11行の木8②の横の側注の「5年」	児童にとって理解し難い学年である。 (指摘事項の学年と木8②の問題との関連性が分からない。)	3-(3)				
9	205	14 - 18	木20	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (「考えに合う計算」がどういう意味か分からないので、解答できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)				
10	229	1	1行上の「中学校体験入学コース」の横の「はってん」	学習指導要領上の位置付けが明示されていない。	2-(17)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

2 枚中 2 枚目

受理番号 30-131		学校 小学校	教科 算数	種目 算数	学年 6
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
11	229	図	「①0より小さい数」の①, ②の図	児童にとって理解し難い図である。 (目盛りの幅)	3-(3)
12	258	9	□1④	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (この問題は、32ページの学習後に取り組んでもよいことになっているが、表などで調べずに比例かどうかを判断することは未習なので、解答できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)
13	259	2	2行下の□1②	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (この問題は、52ページの学習後に取り組んでもよいことになっているが、分数の除法は未習なので、右上のこうたの吹き出しだけでは解答できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)
14	260	1	1行左の「はってん」	学習指導要領上の位置付けが明示されていない。	2-(17)
15	262	9 - 11	□2の円の面積を求める部分	組織が適切でない。 (この問題は103ページの学習後に取り組んでもよいことになっているが、円の面積の求め方は104ページからの学習なので、解答できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(12)
16	275	5 右	「○21 三角形、四角形の角の大きさの和(5年)」の「○あ+○い+○う=180」 ほか右9行「○か+○き+○く+○け=360」	不正確である。 (単位)	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

3 枚中 1 枚目

受理番号 30-140		学校 小学校		教科 算数		種目 算数		学年 5	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	表見返 -1	側注	「あとの学習」における「反比例」, 「対称な図形」, 「拡大図」, 「縮図」, 「比」, 「表面積」	児童にとって理解し難い用語である。 (上の学年で学習する未習の用語)	3-(3)				
2	16	吹き出し	中央にある先生の吹き出しにおける「 三角形定規」	児童にとって理解し難い表現である。 (上部先生の吹き出しにおける「三角定規」との違いが分からない。)	3-(3)				
3	36	吹き出し	右上の先生の吹き出し「さくらさんの いってくれたような関係を何といった かな。」	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (長さや代金の関係が小数倍によるものであるため 、先生の問いに答えられないという支障を生ずるお それがある。)	2-(1)				
4	36	吹き出し	1行下のラビちゃんの吹き出し「代金 は長さに比例しているから、30円の 2.3倍になるんだね。」他に、274ペー ジ最下部のラビちゃんの吹き出し	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておら ず、また、発展的な学習内容であることが明示され ていない。 (簡単な場合を超える比例の学習)	2-(17)				
5	103	図	上部右側のパイやクッキーを分配して いる図	児童にとって理解し難い図である。 (クッキーの個数)	3-(3)				
6	144 - 151		分数と小数、整数	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切 である。 (内容A(4)イ(イ)の「分数の意味をまとめること 。」に照らして、扱いが不適切である。)	2-(1)				
7	148	5 側注	p. 80□6	児童にとって理解し難いページである。 (80ページに□6はない。)	3-(3)				
8	196	1 - 2	右の図で、AからBを通過してAにもど るときの	児童にとって理解し難い表現である。 (右の図の○いについて、どのように「AからBを 通過してAにもどる」のか分からない。)	3-(3)				
9	199	15	3. 14159265359・・・	不正確である。 (関孝和の求めた円周率として)	3-(1)				
10	218	図	鉛筆1②の図中の長さ「5.5cm」	不正確である。 (2辺が6cm, 5.5cmの直角三角形の長さとして)	3-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 30-140		学校 小学校		教科 算数		種目 算数		学年 5	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
11	221	9 - 10	さくらさんが気づいたことが成り立つわけを、□1のゆいさんと同じようにして説明しましょう。	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (□1におけるゆいさんの説明が不明で、同じように説明できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)				
12	242	側注	9行上の「答え→p. 272」	児童にとって理解し難いページである。 (272ページに、答えがない。)	3-(3)				
13	244	図	6行下のさくらの考えにおける「4本」に対応するマッチ棒の図	児童にとって理解し難い図である。 (右に示されている「4本」との関係が分からない。)	3-(3)				
14	248	側注	2行下の「p. 238□2」	児童にとって理解し難いページである。 (238ページに□2はない。)	3-(3)				
15	250	吹き出し	4行下のラビちゃんの吹き出しにおける「「□発行者のウェブサイト名」の「プログラミング」のページから、学習用ページを開いて、問題に取り組もう。」	児童が誤解するおそれのある表現である。 (必ず発行者のウェブサイトへ接続しなければ学習できないと、誤解するおそれがある。)	3-(3)				
16	254	1	◇ヒの②, ③	組織が適切でない。 (この問題は55ページに続いて行われるが、55ページの鉛筆4の④, ⑤ですでに体積を求めている。)	2-(12)				
17	256	6 側注	答え→p. 276～p. 277	児童にとって理解し難いページである。 (277ページに「⑦ぴったり重なる図形について調べよう」の答えはない。)	3-(3)				
18	267	1	はってん	学習指導要領上の位置付けが明示されていない。	2-(17)				
19	277	9 左段	「⑧整数の性質を調べよう」の◇ス③の解答における「1355」	誤りである。	3-(1)				
20	277	1 右段	「⑨分数のたし算とひき算を考えよう」における◇ヒの③, ④の解答	誤りである。	3-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 30-141		学校 小学校		教科 算数		種目 算数		学年 6	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	表見返し-1		「あとの学習」における「正の数, 負の数」, 「相似」	児童にとって理解し難い用語である。 (中学校で学習する未習の用語)	3-(3)				
2	5	脚注	指導者・保護者のみなさまへ→p. 271	児童にとって理解し難いページである。 (この図書に271ページはない。)	3-(3)				
3	38	16	□8①	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず, また, 発展的な学習内容であることが明示されていない。 (複雑な1次方程式を解く問題)	2-(17)				
4	46	2 - 4	□3のような図形も, これまでに学習した形の組み合わせとしてみると, 面積を求めることができます。	児童にとって理解し難い表現である。 (□3の円では, これまで学習していないおうぎの形の組み合わせと見ている。)	3-(3)				
5	47	6	□2①における面積を求める問題	組織が適切でない。 (同じページの「しっかりチェック」と同じ図形の面積である。)	2-(12)				
6	49	吹き出し	問題2のラビちゃんの吹き出し「さらに細かく等分していくと, ○あ, ○いは何の長さに近づいていくかな。」	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (何をどのように等分するのかが分からず, 問いに答えられないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)				
7	51	吹き出し	右下のゆいの吹き出し「どうして当てられるか, わかるかな。」及びつばさの吹き出し「はじめの数を□にして式に表すと…」	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず, また, 発展的な学習内容であることが明示されていない。 (文字式を利用する説明の考察)	2-(17)				
8	64	7	鉛筆2③ 他に, 68ページ4, 5行□1②, 238ページ10行◇ニ②	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず, また, 発展的な学習内容であることが明示されていない。 (範囲の計算)	2-(17)				
9	65	枠囲み	7行横の図の下「最頻値は9」 他に, 258ページ右段17行◇ヌ②の「8」, 261ページ「復習の答え」の「p. 135 1)」の「最頻値…7」	不正確である。 (単位がない。)	3-(1)				
10	69	枠囲み	4行下の枠囲みの○あと○いにおける「平均値が58」	不正確である。 (単位がない。)	3-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 30-141		学校 小学校		教科 算数		種目 算数		学年 6	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
11	71	図	7行横の「階級」と「15以上～20未満」を関連づける図的表記	児童が誤解するおそれのある図である。 (階級を示す際に単位は必要ないと誤解するおそれがある。)	3-(3)				
12	73	18	鉛筆2②	児童にとって理解し難い問題である。 (与えられているのは6年生の家庭学習の時間の柱状グラフである。)	3-(3)				
13	74	グラフ	5行下の「男女別、年れい別人口」における「2015年」のグラフ	不正確である。	3-(1)				
14	93	吹き出し	右上の先生の吹き出し「ゆいさんのいってくれたような関係を何と行ったかな。」他に、109ページ右上の先生の吹き出し「ペンキの量とぬれる面積にはどのような関係があったかな。」	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (ペンキの量とぬれる面積の関係が分数倍によるものであるため、先生の問いに答えられないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)				
15	103	4 - 5	「しっかりチェック」の②における「 $4/15 \times 3/8 = 2 \times 3/15 \times 8 = 1/20$ 」	誤りである。	3-(1)				
16	109	吹き出し	$\triangle 4$ の右下のゆうとの吹き出しにおける「×」	誤りである。	3-(1)				
17	122	7 側注	p. 116	児童にとって理解し難いページである。 (「p. 116」は「商の大きさ」であり、問題との関連が分からない。)	3-(3)				
18	149	13 側注	p. 144□1	児童にとって理解し難いページである。 (144ページに□1はない。)	3-(3)				
19	171	吹き出し	右上の教師の吹き出し「2人が考えたような関係を何と行ったかな。」、1行「比例の関係を使うと」及び172ページ上のラビちゃんの吹き出しにおける「比例をうまく使って」	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (表などで調べずに比例かどうかを判断することは未習なので、比例になることが理解できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)				
20	171	3 - 6	鉛筆1 他に、245ページ◇ラ	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (問題の2量の関係がどのような関係か分からないため、解答できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 30-141		学校 小学校		教科 算数	種目 算数	学年 6
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
21	194	吹き出し	4行下のラビちゃんの吹き出しにおける「□発行者のウェブサイト名」の「プログラミング」のページから、学習用ページを開いて、問題に取り組もう。」	児童が誤解するおそれのある表現である。 (必ず発行者のウェブサイトへ接続しなければ学習できないと、誤解するおそれがある。)	3-(3)	
22	200	12 側注	p. 101	児童にとって理解し難いページである。 (「p. 101」は「面積や体積の公式と分数」であり、問題との関連が分からない。)	3-(3)	
23	232	2	発展	学習指導要領上の位置付けが明示されていない。	2-(17)	
24	242	23 - 24	◇ツ②	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (複雑な場合の数を求める問題)	2-(17)	
25	243	4 側注	答え→p. 259～p. 260	児童にとって理解し難いページである。 (「p. 260」に「@割合の新しい表し方を調べよう」の答えはない。)	3-(3)	
26	256	吹き出し	□3横のラビちゃんの吹き出し「個数と牛乳の量は比例しているから、個数が3倍になると、牛乳の量も3倍になるね。」	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (この内容は27ページに続いて学習されるが、表などで調べずに比例かどうかを判断することは未習なので、比例になることが理解できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)	
27	258	18 右段	「⑤データの特ちょうを調べよう」の◇ネの解答における「14.5」 他に、261ページ「復習の答え」の「p. 135 1」の「中央値・・・6.5」	不正確である。 (単位がない。)	3-(1)	
28	259	7 右段	「⑧分数でわる計算を考えよう」の◇スの解答における「□」	児童にとって理解し難い記号である。 (「□」が何か分からない。)	3-(3)	
29	259	33 右段	「@割合の新しい表し方を調べよう」の◇ヒの解答における「x」	児童にとって理解し難い記号である。 (「x」が何か分からない。)	3-(3)	
30	261	24 左段	「復習の答え」の「p. 89 1) ①」における「 $6 \times 6 \times 3.14 = 113.041$ 13.04cm^2 」	誤りである。	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

4 枚中 4 枚目

受理番号 30-141		学校 小学校		教科 算数		種目 算数		学年 6	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
31	261	31 左段	「復習の答え」の「p. 89 4) ③」における「 $10/3$ ($3\frac{2}{3}$)」	誤りである。	3-(1)				
32	261	33 右段	「復習の答え」の「p. 168 5) ③」における「 36cm^2 」	誤りである。 (「 cm^2 」)	3-(1)				
33	263	23 左段	「分数のかけ算とわり算，計算のきまり」における◇6⑥の「 $3/4$ 」	誤りである。	3-(1)				
34	264	12 左段	「量の単位，図形の面積や体積」における問題番号「◇10」	児童にとって理解し難い問題番号である。 (問題に「◇10」はない。)	3-(3)				
35	264	5 右段	「比，変わり方，並べ方と組み合わせ方，データの活用」の◇2の①	誤りである。 (表の「道のり y (m)」の値)	3-(1)				
36	264	30 左段	「チェック アンド トライの答え」における1③，④の答え	誤りである。	3-(1)				
37	269	4	「さくいん」の中央の段の「底面積・・・80」	誤りである。	3-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

2 枚中 1 枚目

受理番号 30-144		学校 小学校		教科 算数		種目 算数		学年 5	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	77	9	「□3」における○お, ○か	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (どのような四角形か分からず, 解答できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)				
2	99	3 - 5	偶数は $2 \times \square$ と表すことができる数で, 奇数は $2 \times \square + 1$ と表すことができる数です。 他に, 102ページ6行「3の倍数は, どれも $3 \times \square$ と表せる数だね。」	不正確である。 (□にどのような数が入るか示されていない。)	3-(1)				
3	99	10 - 11	□1 □にあてはまる数を書いて, 偶数か奇数かがわかるように式に表しましょう。 他に, 265ページ11, 12行	児童にとって理解し難い表現である。 (③と④の問題では□に数を書いて, 式に表すことができない。)	3-(3)				
4	150	吹き出し	□7横のぐりちゃんの吹き出し「紙の印刷の速さも求められるのかな。」	児童にとって理解し難い表現である。 (□7との関連が分からない。)	3-(3)				
5	153	16 脚注	ハヤブサは, 時速何kmぐらいで走るでしょうか。	児童にとって理解し難い表現である。 (「ハヤブサ」が何か分からない。)	3-(3)				
6	190	9 - 11	$\triangle 4$	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (この設定では収穫量について比較できず, 解答できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)				
7	191	表	「いろいろなグラフに表してみよう」の「5年生の好きな動物と割合」の表における合計の数「70」	不正確である。	3-(1)				
8	194	10 - 12	③ 栃木と福岡の収かく量の割合は, 全体の何%でしょうか。	児童にとって理解し難い問題である。 (栃木と福岡のそれぞれの収穫量の割合を①で求めているため, 何を問われているのか分からない。)	3-(3)				
9	210	4	葉8	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (高さが不明で, 解答できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)				
10	236	吹き出し	12行下のぐりちゃんの吹き出し「①で求めたきよりは, 1コースと同じだから…。」	児童にとって理解し難い表現である。 (「①で求めたきより」と1コースの何が同じか分からない。)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

2 枚中 2 枚目

受理番号 30-144		学校 小学校	教科 算数	種目 算数	学年 5
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
11	259	13	「□2 体積」における◇1の②	組織が適切でない。 (この問題は19ページに続いて行われるが、18ページの△3〇いで求める体積と同じである。)	2-(12)
12	262	15	また、そのときに調べた辺の長さや角の大きさも書きましょう。	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (合同かどうかを調べるのに、辺や角の大きさを調べるとは限らないため、解答できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)
13	265	21	「□7 整数の見方」における◇5の①	組織が適切でない。 (この問題は104ページに続いて行われるが、104ページの□6と同じ問題である。)	2-(12)
14	266	3	「□7 整数の見方」における◇7の③	組織が適切でない。 (この問題は109ページに続いて行われるが、109ページの□10と同じ問題である。)	2-(12)
15	271	4	北町小学校の5年生の女子の人数は72人で、これは、全体の60%です。	児童にとって理解し難い表現である。 (全体が何か分からない。)	3-(3)
16	275	12	「□15 正多角形と円」における◇3の〇え	組織が適切でない。 (この問題は226ページに続いて行われるが、226ページの□2で求める角度と同じである。)	2-(12)
17	278		コンピュータは数で動く？	発展的な学習内容であることが明示されていない。 (二進法の学習)	2-(17)
18	278	図	13行上の図における「白黒白黒白黒」の下にある数値	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (それぞれの行の数値の合計がまず目の横の数に合わず、どのように塗れば良いか分からないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)
19	285	15 - 19 右段	「□5 合同と三角形、四角形」における◇2の解答	不正確である。 (辺の長さや角の大きさが書かれていない。)	3-(1)
20	286	24 右段	「□10 単位量あたりの大きさ」における◇5の①の解答	不正確である。 (解答が不足している。)	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 30-145		学校 小学校		教科 算数	種目 算数	学年 6
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	18	14 - 17	偶数と奇数を表す式 はってん中学1年	発展的な学習内容には該当しない。	2-(15)	
2	75	吹き出し	6行下のどんちゃんの吹き出し 「 $15 \times a/b = 15 \div a/b$ 」	誤りである。	3-(1)	
3	85	吹き出し	△2下のかえでの吹き出し「2組のデータは、最大の値と最小の値の差が大きいよ。」	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (範囲を用いた考察)	2-(17)	
4	88	7 - 8	△2 それぞれの組の平均値、最ひん値、中央値は、上の柱状グラフのどこに現れるでしょうか。	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (どのように答えて良いのか分からず、解答できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)	
5	91	5 - 6	平均値・・・平均値から大きくずれる値があると、その値までふくんで計算されてしまう。	児童にとって理解し難い表現である。 (平均値の欠点が何か分からない。)	3-(3)	
6	98	10 - 11	数直線のめもりを合わせて並べた図	児童にとって理解し難い表現である。 (「数直線のめもり」を何に合わせるのか分からない。)	3-(3)	
7	121	3	対応するx, yの値を表す点他に、134ページ3行	児童にとって理解し難い表現である。 (どのような点か分からない。)	3-(3)	
8	144	吹き出し	薬4におけるかえでの吹き出し	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (高さ1cmの円柱の体積をどのように考えて良いのか分からず、体積を求められないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)	
9	145	5 - 6	②	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (表面積を求める問題)	2-(17)	
10	156	3 - 4	くじの数を全部で120枚にするとき、当たりくじの数は何個にすればよいでしょうか。	児童にとって理解し難い表現である。 (「枚」と「個」の使い分け方が分からない。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 30-145		学校 小学校		教科 算数		種目 算数		学年 6	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
11	160	吹き出し	下のみなどの吹き出し「同じ写真なのに、変な形に見えるものがあるよ。」	児童にとって理解し難い表現である。 (これら4つを同じ写真とみることが分からない。)	3-(3)				
12	176	1 - 7	葉2	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (100cmの表示ととび箱のおよその体積との関係が不明で、解答できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)				
13	178	3	上の写真の地上絵は、はしからはしまで135mもあります。	児童にとって理解し難い表現である。 (「はしからはしまで」がどの部分の長さか分からない。)	3-(3)				
14	188	3	□6②	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (複雑な場合の数を求める問題)	2-(17)				
15	205	7	□3における○あ、○いの角を求める問題	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (どのような方法で求めるのか分からず、解答できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)				
16	212	1 側注	「学びのマップp. 268 ○21」, 及び「学びのマップp. 268 ○22」	児童にとって理解し難いページである。 (268ページに○21, ○22は無い。)	3-(3)				
17	218	側注	1行上の「はってん中学1年」	不正確である。 (「中学1年」)	3-(1)				
18	219	13	3つの辺が5cm, 12cm, 13cmの直角でも	児童にとって理解し難い表現である。 (どのような「直角」なのか分からない。)	3-(3)				
19	223	2	5つのふくろのうち、1つはにせもののコインが入ったふくろです。	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (「にせもののコイン」がどのように袋に入っているのか分からず、偽物がどの袋かを探す方法が考えられないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)				
20	228	11 - 12	① 上の例を見て、次のページにある点字の五十音表の○をぬりましょう。	児童が誤解するおそれのある表現である。 (次のページの点字の五十音表を完成させる問題と誤解するおそれがある。)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

3 枚中 3 枚目

受理番号 30-145		学校 小学校		教科 算数		種目 算数		学年 6	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
21	229	6	④	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (与えられた条件では、点字の五十音表が完成できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)				
22	230	3 - 5	①	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (英語とフランス語の数の読み方を答えさせる問題)	2-(17)				
23	236	13	p. 62◇8	誤りである。 (「p. 62」)	3-(1)				
24	249	側注	「QRコードにかくれる比を見つけよう！」におけるQRコード	図書の内容と密接な関連を有していない。 (QRコードが参照させるものは「QRコードにかくれる比」と密接に関連していない。)	2-(18)				
25	250	側注	1行上の「はってん」	学習指導要領上の位置付けが明示されていない。	2-(17)				
26	251	2 右段	「□3対称な図形」の◇6の解答	不正確である。 (問題の図形と異なる図形の解答である。)	3-(1)				
27	254	4 右段	「ふくしゅう③」の□4における「x」	児童にとって理解し難い文字である。 (「x」が何か分からない。)	3-(3)				
28	272	29 左段	「教科書に出てきた言葉」における「人口密度……268」	誤りである。	3-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 30-147		学校 小学校		教科 算数		種目 算数		学年 5	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	8	ノート	だいちさんのノートの9行目「小数点がら下のけた数」	誤記である。 (「がら」)	3-(2)				
2	141	吹き出し	右上のさくらの吹き出し「計算のきまりを使うと……」	児童にとって理解し難い表現である。 (どのようなきまりか分からない。)	3-(3)				
3	164 - 169		12 分数(2)	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容A(4)のイ(イ)の「分数の意味をまとめること。」に照らして、扱いが不適切である。)	2-(1)				
4	181	1 - 9	■3	児童にとって理解し難い表現である。 (「ねだん」「もとのねだん」「ね引き前のねだん」「ね引きされる前のねだん」「ね引きされる前のもとのねだん」これらの関係が分からない。)	3-(3)				
5	195	6 - 8	■2	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (円周測定マシンの作り方が分からず、円周と直径の関係を調べることができないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)				
6	233	吹き出し	右下のひなたの吹き出し、 9-10行 及びえんぴつくんの吹き出し	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (多角形の内角の和の公式)	2-(17)				
7	234	吹き出し	ひなたの右の吹き出し「あやのさんとお母さんの歩いた道のりは……」	児童にとって理解し難い表現である。 (問題にお母さんはいない。)	3-(3)				
8	236	図	ミッション①の図の「くりかえす。」 他に、237ページのミッション②の図の「くりかえす。」	児童にとって理解し難い表現である。 (「くりかえす。」の意味が分からない。)	3-(3)				
9	237	吹き出し	右下のかいとの吹き出し「☆にそって動かすには……」	児童にとって理解し難い表現である。 (どのように動かすのか分からない。)	3-(3)				
10	246	20	ふつう列車	児童にとって理解し難い表現である。 (「ふつう電車」との関係が分からない。)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

2 枚中 2 枚目

受理番号 30-147		学校 小学校	教科 算数	種目 算数	学年 5
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
11	255	19 - 24	⑱変わり方の△2	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容C(1)のア(ア)の「簡単な場合について、比例の関係があることを知ること。」に照らして、比例の関係を表を用いずに考察することは、扱いが不適切	2-(1)
				である。)	
12	278	図	△112の○うの展開図	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (未習の展開図であるため、解答できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)
13	287	21 左	⑬割合の△3「 $40 \times 8 = 32$ 」	誤りである。	3-(1)
14	287	9 右	⑰速さの△2①の「 $10 \div 150 / 60 = 4$ 」	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (分数で割る計算)	2-(17)
15	289	33 左	△22②の解答「 $30 \div 1.2 = 25$ 」	組織が適切でない。 (この解答は、49ページに続いて行われる259ページの問題の解答であるが、小数での割り算は52ページからの学習内容である。)	2-(12)
16	290	21 左	△63②「 7.5cm^2 」	不正確である。 (「 cm^2 」)	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

4 枚中 1 枚目

受理番号 30-148		学校 小学校		教科 算数		種目 算数		学年 6	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	31	16	△3㊸ 他に、34ページ11-12行△2㊸	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (複雑な一次方程式を解く問題)	2-(17)				
2	35	9 - 14	学びをいかそう	発展的な学習内容であることが明示されていない。 (数列の学習)	2-(17)				
3	36	吹き出し	右上のだいちの吹き出しにおける「ぬれる面積はペンキの量に比例するから、」 他に、42ページ左上のかいとの吹き出し「ぬれる面積はペンキの量に比例するから……」	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (表などで調べずに比例かどうかを判断することは未習なので、理解できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)				
4	79	11 - 15	度数分布表・度数 はってん中学校1年	学習指導要領に示す内容を発展的な学習内容として扱っている。 (内容D(1)のア(イ)の「度数分布を表す表やグラフの特徴及びそれらの用い方を理解すること。」に示す内容である度数分布表及び度数を発展的な学習内容として扱っている。)	2-(15)				
5	83	9	○B	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (この設定では判断できず、どのように答えてよいか分からないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)				
6	85	グラフ	左上の折れ線グラフ	不正確である。 (2017年の平均気温)	3-(1)				
7	85	ノート	ノートの平均気温の折れ線グラフ及び2017年のヒストグラム	相互に矛盾している。 (上のそれぞれのグラフと不対応。)	3-(1)				
8	91	囲み	左下の囲み「正多角形の作図」	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (正多角形の作図については、児童にとって理解し難いものが多く、調べることができないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

4 枚中 2 枚目

受理番号 30-148		学校 小学校		教科 算数		種目 算数		学年 6	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
9	91	囲み	左下の囲み「正多角形の作図」	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (コンパスと定規による作図の研究)	2-(17)				
10	111	4 - 5	底面積が変わらないときは、体積は高さに比例すると思いました。	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (表などで調べずに比例かどうかを判断することは未習なので、理解できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)				
11	115	5	a/b 他に、側注の「a/b」	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (整数以外の数を含む場合の分数の形の表示)	2-(17)				
12	128	吹き出し	左下のさくらの吹き出し	児童にとって理解し難い表現である。 (どこを縮めているのか分からない。)	3-(3)				
13	143	16 - 17	左下の測定板の作り方の説明①及び②	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (指示が分からず、測定板をどのように作ってよいのか分からないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)				
14	167	8 - 12	いろいろな変わり方のグラフ	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (流量に関する条件が足りず、解答できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)				
15	174	吹き出し	中央のだいちの吹き出し	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (反比例の関係について知ることを超える学習)	2-(17)				
16	176	16 - 18	△3	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (選択肢の中に未習の反比例のグラフが含まれているので、解答できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)				
17	182	10 - 11	ミッション① 他に、183ページ1-6行のミッション②、③、④	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (下の手順の意味が分からず、プログラムをつくることできないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)				
18	184	22	△4③	誤りである。 (単位)	3-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 30-148		学校 小学校		教科 算数	種目 算数	学年 6
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
19	197	10 - 14	数字を使った、右のようなかぎがあります。このかぎでは、0, 1, 2, 3の数字を3つ並べて、かぎを開ける暗証番号をつくることができます。このかぎの暗証番号は、全部で何とおりつくれま	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (複雑な場合の数を求める問題)	2-(17)	
			すか。 及び下の2つの吹き出し			
20	203	4	3人のこまは、上の絵のようになりました。	児童にとって理解し難い表現である。 (上の絵のどこにこまがあるのか分からない。)	3-(3)	
21	225	図	△3のドットプロット 他に、262ページの△41, △42のドットプロット	不正確である。 (単位がない。)	3-(1)	
22	228 - 230		中学校で学ぶ「数学」の簡単なしょうかい	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されていない。	2-(17)	
23	230	5	玉の数は全部で9個だから、	児童にとって理解し難い表現である。 (根拠が分からない。)	3-(3)	
24	233	11 - 13 左	「データの活用」の△3①の解答	不正確である。 (単位)	3-(1)	
25	249	5	答えは288ページにあります。 他に、10行「答えは289ページにあります。」	不正確である。	3-(1)	
26	275	17 - 19	△90	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (複雑な場合の数を求める問題)	2-(17)	
27	276	吹き出し	左下のひなたの上の吹き出し内の図における「80円」 他に、277ページの中央左の黒板の図における「80円」	児童にとって理解し難い表現である。 (□1の問題とどのように関連するのか分からない。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

4 枚中 4 枚目

受理番号 30-148		学校 小学校	教科 算数	種目 算数	学年 6
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
28	287	14 - 17 左	△64の解答例	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (相似条件の利用)	2-(17)
29	288	2	小数の計算 3,4年	児童にとって理解し難い表現である。 (5-12行との関連性が分からない。)	3-(3)
30	289	6	平行四辺形の面積＝底辺－高さ	誤りである。	3-(1)
31	290	6	右の「分数のかけ算」	児童にとって理解し難い表現である。 (指摘事項下との関連性が分からない。)	3-(3)
32	291	15	ヒストグラムの「←180ページ」	児童にとって理解し難いページである。 (示されたページとヒストグラムとの関連性が分からない。)	3-(3)
33	291	23 - 25	量の単位のしくみ	児童が誤解するおそれのある表現である。 (6年生のまとめのページにあるため、6年で学習する内容であると誤解するおそれがある。)	3-(3)
34	292	2	この本で学ぶ算数のことばや記号、単位です。	児童が誤解するおそれのある表現である。 (下の言葉が全てこの本で必ず学習する言葉だと誤解するおそれがある。)	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 30-153		学校 小学校		教科 算数		種目 算数		学年 5	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	上巻 2	吹き出し	右下の子供の吹き出し「このシートを使ってわかりやすく発表しよう。」	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (「このシート」がどこにあるのか分からないので、吹き出しで示された学習ができないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)				
2	5	ノート	ノート上の「(しゅんさんの考え)」の「 $180^\circ \times 4 - 360^\circ$ 」の下に書いてある「四角形の数」	誤りである。	3-(1)				
3	14	側注	12行横の側注の「←12ページ」	児童にとって理解し難いページである。 (示されたページと12行□4③、④との関連性が分からない。)	3-(3)				
4	18	吹き出し	上のクリンの吹き出しの「○あの四角形をまわすと、○うにぴったり重なることがわかるね。」と吹き出し中の図の「○い」	児童にとって理解し難い表現である。 (「○う」と「○い」の関係が分からない。)	3-(3)				
5	68	吹き出し	右下のななみさんの吹き出し「たし算のきまりは、整数や小数だけでなく、分数のときも成り立つよ。 $1/5 + 2/5 = 2/5 + 1/5$ 」	児童にとって理解し難い表現である。 (一部の分数での加法しか学習していないので、全ての分数で加法の交換法則が成り立つか分からない。)	3-(3)				
6	139	3	3行左の「連立方程式」	児童にとって理解し難い用語である。 (上の学年で学習する未習の用語)	3-(3)				
7	144	11 右	「⑥ 小数のわり算 124ページ」の□5 ⑥の解答	誤りである。	3-(1)				
8	145	10 - 11 左	「3 体積 129ページ」の☆2の解答例	不正確である。 (どのような立体か示されていない。)	3-(1)				
9	付録2	吹き出し	中左の吹き出しの「1mのねだんが80円なので、0.1mの代金は、 $80 \div 10 \div 8$ で、8円だとわかります。」	誤りである。 (「 $80 \div 10 \div 8$ 」)	3-(1)				
10	下巻 26	図	「なるほど算数 時速、分速、秒速の関係」の左下の図の「 $1/60$ 」(2箇所) ほか31ページ13行の□3①の「秒速も求めましょう。」	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (割り算を分数で表すことは未習なので、どのように考えてよいか分からないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 30-153		学校 小学校		教科 算数	種目 算数	学年 5
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
11	32 - 39		11 分数と小数, 整数	学習指導要領に示す内容に照らして, 扱いが不適切である。 (内容A(4)のイ(イ)の「分数の意味をまとめること。」に照らして, 扱いが不適切である。)	2-(1)	
12	61	吹き出し	左下のあやのさんの吹き出し「右のようにすれば, 1回クリックするだけで正方形をかくことができるんだね。」ほか右下の側注の「4回クリックすると正方形がかけます。」	誤りである。 (数値が入力されていない。)	3-(1)	
13	91	吹き出し	中左のあおいさんの吹き出し「平行四辺形や三角形のときと同じように, 公式を習った形に変えると面積が求められるね。」	児童にとって理解し難い表現である。 (公式を習った形に変えるとはどういうことか分からない。)	3-(3)	
14	130	表	資料1, 資料2, 資料4の表 ほか資料3の円グラフ	学習上必要な年次が示されていない。	2-(10)	
15	153	表	下の「天然ガス輸入量の国別の割合と輸入量」の表の「(t)」2箇所	不正確である。	3-(1)	
16	156	図	左下の通分の説明の横の「12の倍数」, 「16の倍数」がかかっている図	誤りである。	3-(1)	
17	160	7	くわしくは, webページを見てください。 ほか161ページ脚注の「くわしくは, webページを見てください。」	児童が誤解するおそれのある表現である。 (必ずウェブサイトへ接続して, 当該学習を行わなければならないかのように誤解するおそれがある。)	3-(3)	
18	162	15 左	「⑩ 単位量あたりの大きさ 138ページ」の□4の解答	不正確である。 (速さの表記として。)	3-(1)	
19	162	28 左	「⑫ 割合 140ページ」の□5の解答の「 $1 + 0.25 = 1.25$ 」	児童にとって理解し難い解答である。 (140ページの設問からはこの式の必要性が分からない。)	3-(3)	
20	162	29 - 35 右	「10 単位量あたりの大きさ 144ページ」の☆1①, ②の解答の「○あ, ○い, ○う」	児童にとって理解し難い記号である。 (設問には出てこない。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 30-154		学校 小学校		教科 算数		種目 算数		学年 6	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	2	吹き出し	右下の子供の吹き出し「このシートを使ってわかりやすく発表しよう。」	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (「このシート」がどこにあるのか分からないので、吹き出しで示された学習ができないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)				
2	108	吹き出し	右上のクリンの吹き出し「底面積と、底面が○オと合同で高さが1cmの円柱の体積を表す数は同じだね。」	児童にとって理解し難い表現である。 (このことはまだ分かっていない。)	3-(3)				
3	124	吹き出し	中右のクリンの吹き出し「3:1:3と簡単に表すこともできるよ。」	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (3つの比については、比が等しいことや簡単にすることがどういうことか未習なので、吹き出しの内容を理解できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)				
4	129	7	縮めた図を縮図といいます。	児童にとって理解し難い表現である。 (どのように縮めたのか分からない。)	3-(3)				
5	136	吹き出し	中右のクリンの吹き出しの写真 ほか142ページの下の「角のはかり方」の囲みの右の写真	児童にとって理解し難い写真である。 (写真の細部が見えないので、どのような道具なのか分からない。)	3-(3)				
6	140	吹き出し	中のクリンの吹き出し「対応する辺の長さの比が等しいものは拡大図・縮図といえるよ。」	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (相似条件)	2-(17)				
7	141	6	□1③	児童にとって理解し難い問題である。 (どのようにここでの学習内容を使ってよいか分からない。)	3-(3)				
8	153	7 - 11	2つの地点で小さなゆれを感じてから大きなゆれを感じるまでの時間の差を調べることで、いつどこで地震がおきたかを知ることができます。	不正確である。 (2地点では震源の位置を特定できない。)	3-(1)				
9	154	1	1行上の「一次関数」 ほか234ページ1行横の「正の数」, 「負の数」 235ページ1行横の「平方根」 237ページ1行横の「方程式」	児童にとって理解し難い用語である。 (中学校で学習する未習の用語)	3-(3)				
			239ページ1行横の「一次関数」 260ページ15行左下の「相似比」						

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 30-154		学校 小学校		教科 算数	種目 算数	学年 6
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
10	173	4 - 5	② ほか193ページ4～5行□1①	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (範囲の計算)	2-(17)	
11	174	吹き出し	左上のクリンの吹き出し「5mごとに旗をまとめると…」	児童にとって理解し難い表現である。 (区切れをどのように入れるのか分からない。)	3-(3)	
12	179	3	平均を使う平均値	児童にとって理解し難い表現である。	3-(3)	
13	179	6	最頻値は4です。 ほか10行の「中央値は5です。」 278ページ左2～4行「㊸ 資料の調べ方 253ページ」の□3の解答	不正確である。 (単位)	3-(1)	
14	182	グラフ	下の「男女別・年れい別 人口の割合」のグラフに示された「中央値」4箇所	児童にとって理解し難いグラフである。 (グラフにおける「中央値」がどのようなデータのものなのか分からない。)	3-(3)	
15	183	囲み	右上の囲み「2つのグラフの形のちがいや中央値の位置の変化に着目して、日本の人口の変化を考えよう。」	児童にとって理解し難い表現である。 (182ページの2つのグラフには、どこの人口のことが示されていないので、「日本の人口」との関係はどうして考えるのか分からない。)	3-(3)	
16	188	囲み	下の「ポイント」と記された囲みの1行の「アンケートには通し番号をつけることで」	児童にとって理解し難い表現である。 (「アンケートに通し番号をつける」とはどういうことか分からない。)	3-(3)	
17	197	11 - 16	□1③	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (Bチーム以外のデータについての条件が不足しているので、設問に解答できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)	
18	218	1	1行上の「中学1年・文字式」	不正確である。	3-(1)	
19	235	15 - 16	分数を小数で表せるのと同じように、小数も分数で表すことができますが	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (全ての分数が小数で表されることは未習なので、内容が理解できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

3 枚中 3 枚目

受理番号 30-154		学校 小学校		教科 算数		種目 算数		学年 6	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
20	247	10	「⑥ 円の面積」の□1①	組織が適切でない。 (この問題は81ページに続いて行われるが、81ページ9行の△1①と同じ)	2-(12)				
21	257	12 - 16	☆1③	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (複雑な場合の数を求める問題)	2-(17)				
22	272	22 - 23	下の「割合 5年」の囲みの「百分率：割合を表す0.1を1パーセントともいい」	誤りである。	3-(1)				
23	278	6 - 9 左	「3 文字と式 254ページ」の☆1の解答	不正確である。 (○アについての記述がない。)	3-(1)				
24	279	10 右	イラストをびったりはるには…。 268ページ	相互に矛盾している。 (「。」)	3-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

8 枚中 1 枚目

受理番号 30-156		学校 小学校		教科 算数		種目 算数		学年 5	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	上巻 23	図	①の図	児童にとって理解し難い図である。 (BCの長さが右上の三角形のBCの長さ異なる。)	3-(3)				
2	29	4 - 13	①	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (特別な四角形になるための条件の利用)	2-(17)				
3	31	4 - 5	■2	児童にとって理解し難い表現である。 (与えられた図は原寸でないため、なぜ測るのか分からない。)	3-(3)				
4	32	吹き出し	1コマ目の下の二人の吹き出し	児童にとって理解し難い表現である。 (長方形という設定がなく、「たて」、「横」が何か分からない。)	3-(3)				
5	38	9	■2①	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (条件が不足しているため、解答できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)				
6	39	2 - 10	■1	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容C(1)のア(ア)の「簡単な場合について、比例の関係があることを知ること。」に照らして、比例の関係を表を用いずに考察することは、扱いが不適切	2-(1)				
				である。)					
7	47	15 - 20	■4	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (どのように比べればよいのか分からず解答できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)				
8	54	12	2017年の人口	不正確である。 (年次)	3-(1)				
9	61	グラフ	下の棒グラフ	不正確である。 (中国)	3-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 30-156		学校 小学校		教科 算数		種目 算数		学年 5	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
10	81	側注	2つ目の側注「見方・考え方 ジュースの量とねだんは比例しているね。」	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容C(1)のア(ア)の「簡単な場合について、比例の関係があることを知ること。」に照らして、比例の関係を表を用いずに考察することは、扱いが不適切	2-(1)				
				である。)					
11	100	16 - 17	かがやき号は、東京と金沢の間450kmを3時間で走ります。	不正確である。	3-(1)				
12	101	12 - 13	リニアモーターカーは860kmの道のりを2時間で走ることができます。	児童が誤解するおそれのある表現である。 (あたかも走ることができるかのように誤解するおそれがある。)	3-(3)				
13	102	吹き出し	左上の吹き出し「風の速さとは、空気が1秒間あたりに進む道のりのことです。風速ともいいます。」	不正確である。 (風の速さは秒速で測るとは限らない。)	3-(1)				
14	106	7 - 8	わり切れないときは、小数第二位を四捨五入して、小数第一位までで答えましょう。	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (単位が不明のため、レーシングカーの秒速が解答できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)				
15	106	11	○イ 分速2.1kmで走る馬	不正確である。 (分速2.1km)	3-(1)				
16	116	8 - 11 右	ななみさんの考え「4つの角を切り取って、それぞれの頂点を1つに集めたら、円になったので□°」	児童にとって理解し難い表現である。 (何が円になるのか分からない。)	3-(3)				
17	143	吹き出し	9行の「偶数」から左下に出ている吹き出し「0があれば」	児童にとって理解し難い表現である。 (何を意味するのか分からない。)	3-(3)				
18	143	9	8は16の約数です。	児童にとって理解し難い表現である。 (142ページの問題との関係が分からない。)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

8 枚中 3 枚目

受理番号 30-156		学校 小学校	教科 算数	種目 算数	学年 5
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
19	144	1	発てん	学習指導要領上の位置付けが明示されていない。	2-(17)
20	148	1 - 2 左	■5	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (与えられた条件からはかくことができず、解答できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)
21	148	表	左下の○ウの表における「長さ○(m)」、 「重さ□(g)」	相互に矛盾している。 (左11行の□や○と不対応。)	3-(1)
22	159	15 右	①3, 180, 360 ②4, 360, 360 ③2, 360	児童にとって理解し難い表現である。 (何に対する解答が分からない。)	3-(3)
23	160	12 左	対応する角(corresponding angel)	誤りである。 (「angel」)	3-(1)
24	160	9 右	(If~, then~,)	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (どのように「~」を埋めて使うのか分からず、理解できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)
25	下巻 表見返 -1	グラフ	「数えたい、まとめたい」の棒グラフ	不正確である。 (各棒グラフの平成25年の数値)	3-(1)
26	20 - 27		12 分数と小数・整数	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容A(4)のイ(イ)の「分数の意味をまとめること。」に照らして、扱いが不適切である。)	2-(1)
27	22	側注	右上の側注「見方・考え方」における 「2/3は、…2÷3の商と考えたりすることができるね。」	児童にとって理解し難い表現である。 (未習の内容なので分からない。)	3-(3)
28	26	8	▲5②及び③	組織が適切でない。 (5行の▲4で答えが求められている。)	2-(12)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 30-156		学校 小学校		教科 算数	種目 算数	学年 5
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
29	26	9 - 18	なるほど!算数 同じ数が続く小数	発展的な学習内容であることが明示されていない。 (循環小数を分数に直す学習)	2-(17)	
30	34	3	比べられる÷もとにする量	誤りである。	3-(1)	
31	34	4	=比べられる量/もとにする量	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (整数以外の数を含む場合の分数の形の表示)	2-(17)	
32	39	15	■2「次の割合を小数で答えましょう。」	児童にとって理解し難い問題である。 (②や④は小数にならない。)	3-(3)	
33	40	17 - 18	■3③ 他に、48ページ6-9行■1②③、14-15行■2②、49ページ7-8行■1①	組織が適切でない。 (割合から比べられる量やもとにする量を求めるのは112ページからの学習内容である。)	2-(12)	
34	43	グラフ	右上の「小学生の将来なりたい職業(2017年)」の円グラフ	不正確である。 (項目ごとの集計が不正確。)	3-(1)	
35	43	8	③	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (約何分の1の形では表せず、解答できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)	
36	49	9 - 11	■1②	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (重複して飼っている人の情報がないため、何も飼っていない人数を解答できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)	
37	49	12 - 17	■2における「2016年」4箇所	不正確である。	3-(1)	
38	49	14 - 15	次の帯グラフは、2006年のインターネットの利用回数を表したものです。	不正確である。	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 30-156		学校 小学校		教科 算数		種目 算数		学年 5	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
39	59	9	左の「だいきさんの考え」	誤りである。	3-(1)				
40	71	5	■2	児童にとって理解し難い図である。 (どこが底辺か分からない。)	3-(3)				
41	72	図	左の4つの図	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (どこが高さが分からないため、右の3-15行の説明が理解できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)				
42	72	7 - 8	高さの1/2のところに底辺と平行に引いた直線を中央線とすると、	児童にとって理解し難い表現である。 (中央線が何か分からない。)	3-(3)				
43	73	8	長さがなくても考えられる。	児童にとって理解し難い表現である。 (どここの長さのことを言っているのか分からない。)	3-(3)				
44	87	8	■2②	組織が適切でない。 (■1②で正五角形をかくときに72°を求めている。)	2-(12)				
45	90	18 - 20	「深めたいな」及び下の図	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (サイクロイドの学習)	2-(17)				
46	96	13 - 14	▲4	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (指数についての考察)	2-(17)				
47	102	ノート	下のノートの〈たけしさんの考え〉の「 $5 \times 2 \times 4 = 100$ 」	誤りである。	3-(1)				
48	125	表	⑤の表の三角柱の側面の形「長方形」	相互に矛盾している。 (4-5行の記述と矛盾している。)	3-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 30-156		学校 小学校		教科 算数	種目 算数	学年 5
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
49	128	図	右の「ほかのてん開図も考えてみよう。」の下の図	児童にとって理解し難い図である。 (破線と実線との違い。)	3-(3)	
50	132 - 137		20 データの活用	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容D(1)のア(イ)の「統計的な問題解決の方法を知ること。」に照らして、問題解決の方法が扱われていない。)	2-(1)	
51	133	4	その番号 他に、134ページ18行、19行「その番号」	児童にとって理解し難い表現である。 (番号とは何か分からない。)	3-(3)	
52	133	グラフ	②の下の帯グラフ	児童にとって理解し難い表現である。 (本の貸出冊数とインターネットの利用、不利用との関係が分からない。)	3-(3)	
53	136	グラフ	「ミネラルウォーターの消費量と輸入率」のグラフ	相互に矛盾している。 (135ページのグラフの値と不対応。)	3-(1)	
54	136	10 - 12	④ 他に、147ページの下のひろととなみの吹き出し	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (一次関数とみなして変化の割合を利用する問題)	2-(17)	
55	137	9 - 10	それぞれの項目の面積の大きさがその項目の数と比例します。 他に、14-15行「たての長さは、その項目の合計に比例した大きさになるので、」	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (簡単な場合を超える比例の学習)	2-(17)	
56	137	16 - 17	男子と女子のたての長さの比は、3:2になります。	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (説明がないため、比が3:2になることの意味が分からないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)	
57	137	16 - 17	男子と女子のたての長さの比は、3:2になります。	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (比の学習)	2-(17)	
58	137	グラフ	下の3つのレーダーチャート	児童にとって理解し難いグラフである。 (どのようなグラフなのか分からない。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

8 枚中 7 枚目

受理番号 30-156		学校 小学校		教科 算数		種目 算数		学年 5	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
59	147	2	?次のグラフや表を見て、わかることをまとめましょう。 及び下の棒グラフと表	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (月別・出発地別の数値が実際の値ではないため、分かることを適切にまとめることができないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)				
60	147	グラフと表	京都府コースのグラフと表	学習上必要な年次が示されていない。	2-(10)				
61	147	グラフ	左上の棒グラフ	児童にとって理解し難いグラフである。 (凡例と棒グラフの対応が分からない。)	3-(3)				
62	147	表	右上の表	不正確である。 (表題がない。)	3-(1)				
63	147	表	右上の表の(注)	児童にとって理解し難い表現である。 (注の意味が分からない。)	3-(3)				
64	148	1	修学旅行にそなえてツアーガイドブックを作る	相互に矛盾している。 (146ページ1-2行の表題と異なる。)	3-(1)				
65	150	3 右	■5③	児童にとって理解し難い問題である。 (分数の線がない。)	3-(3)				
66	152	1 - 20 右	■6-■11	組織が適切でない。 (この問題は39ページに続いて行われるが、割合から比べられる量やもとにする量を求めるのは112ページからの学習内容である。)	2-(12)				
67	152	7 右	■8の「当たる割合が35%のくじがあります。」	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (確率の問題)	2-(17)				
68	153	6 - 8 左	■1② 他に、左段13-14行■2②	組織が適切でない。 (この問題は48ページに続いて行われるが、割合から比べられる量やもとにする量を求めるのは112ページからの学習内容である。)	2-(12)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

6 枚中 1 枚目

受理番号 30-157		学校 小学校		教科 算数		種目 算数		学年 6	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	上巻 表見返 -1		数えたい、まとめたい	発展的な学習内容であることが明示されていない。 (複雑な場合の数を求める問題)	2-(17)				
2	表見返	7	いったい全部で何通りあって、勝つ法則はあるのでしょうか。	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (全てかき上げて考えることは困難なため、解答できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)				
3	表見返	図	左下から6番目の○×ゲームの最後の局面	誤りである。	3-(1)				
4	表見返	図	中央下から3番目と4番目	児童にとって理解し難い図である。 (どうして同じものが並べてあるのか分からない。)	3-(3)				
5	20	2	右の図のような	不正確である。 (右に図はない。)	3-(1)				
6	30	9 - 16	▲5 他に、18-19行▲6	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (複雑な一次方程式を解く問題)	2-(17)				
7	32	14	■2④ $32-x=13$ 他に、15行⑥ $60 \div x=12$ 、別冊17ページ17行旗1③ $25-x=9$	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (逆算で求めることができない形式的に解く問題なので、解答できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)				
8	35	側注	右下の側注における「ぬれる面積はペンキの量に比例しているから、」 他に、48ページ右下の側注	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (表などで調べずに比例かどうかを判断することは未習なので、理解できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)				
9	56	囲み	右上のロボットの囲み「①、②とも同じ答えになっているよ。」	児童にとって理解し難い表現である。 (まだ②の答えは分かっておらず、理解し難い。)	3-(3)				
10	56	4	だいきさんの考え	児童にとって理解し難い表現である。 (上の「まみさん」との関係が分からない。)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

6 枚中 2 枚目

受理番号 30-157		学校 小学校	教科 算数	種目 算数	学年 6
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
11	57	側注	2つ目の側注「どの辺を高さと考えているかな。」	児童にとって理解し難い表現である。 (式の意味をどのように読み取るのか分からない。)	3-(3)
12	74	7	$=3/\square \times 48/\square \div \square/45$	児童にとって理解し難い表現である。 (\square をどのように埋めてよいのか分からない。)	3-(3)
13	78 - 79		ふりかえろう つなげよう	発展的な学習内容であることが明示されていない。 (四則計算の可能性)	2-(17)
14	82	10 - 14	右の○キの囲み 他に、83ページのななみの吹き出し、8-10行■2	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (複雑な場合の数を考える問題)	2-(17)
15	90	12	対称の軸に垂直に変わっています。	誤りである。	3-(1)
16	92	ノート	ノートの下から3行目の「辺GH。」	誤りである。	3-(1)
17	94	7	245ページの○ア、○カを切り取り、	児童にとって理解し難い表現である。 (すでに87ページで切り取られている。)	3-(3)
18	114	12	実際の面積と比べてみましょう。	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (どのようにして実際の面積と比べるのか分からず、解答できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)
19	114	図	▲3の下の図	不正確である。 (単位)	3-(1)
20	117	1	発展 他に、125ページ1行	学習指導要領上の位置付けが明示されていない。	2-(17)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

6 枚中 3 枚目

受理番号 30-157		学校 小学校		教科 算数		種目 算数		学年 6	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
21	118	5	中心角 他に、119ページ5行と右の図における「中心角」	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (未習のため、理解できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)				
22	118	5	中心角 他に、119ページ5行と右の図における「中心角」	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (中心角)	2-(17)				
23	119	7 - 8	右のように正六角形を重ねると、次のような形が見える。この形で考えてみよう 他に、10行「この形が6個あるから」	児童にとって理解し難い表現である。 (「次のような形」, 「この形」が何を指すのか分からない。)	3-(3)				
24	119	9	対角線×対角線÷2	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (未習の公式であり、理解できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)				
25	119	吹き出し	右下のゆいの吹き出し	児童にとって理解し難い表現である。 (どのような条件で考えているのか分からない。)	3-(3)				
26	129	図	■2の図の右下にある「(角はすべて直角)」	児童にとって理解し難い表現である。 (どの角を指すのか分からない。)	3-(3)				
27	130 - 131		ふりかえろう つなげよう	発展的な学習内容であることが明示されていない。 (側面積を含む考察)	2-(17)				
28	130	2 - 3	左のような長方形が側面になる立体	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (立体の側面が何か分からず、解答できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)				
29	131	10	10行横の吹き出し「まわりの長さが同じなら円の面積がいちばん大きくなる。」 他に、13行「底面の面積は、円がいちばん大きいから」、右下のひろとの吹	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (円の面積が一番大きくなるのかが分からないため、この問題で円柱が一番体積が大きくなることが理解できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)				
			き出し「円のときがいちばん底面の面積が大きくなるから、」						

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

6 枚中 4 枚目

受理番号 30-157		学校 小学校	教科 算数	種目 算数	学年 6
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
30	134	12	a/b 他に, 14行「 $a \div b = a/b$ 」	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず, また, 発展的な学習内容であることが明示されていない。 (整数以外の数を含む場合の分数の形の表示)	2-(17)
31	141	4	■1の① 他に, ②	児童にとって理解し難い表現である。 (■1の問題文との対応が分からない。)	3-(3)
32	151	図	3人のかき方における三角形DEF	不正確である。 (150ページの右上の三角形ABCと相似ではない。)	3-(1)
33	189	吹き出し	右下のだいきの吹き出し	児童にとって理解し難い表現である。 (「左側の数」の指す部分が分からない。)	3-(3)
34	194 - 195		■3	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず, また, 発展的な学習内容であることが明示されていない。 (階級の幅を変えて柱状グラフを作り直す学習)	2-(17)
35	197	11	20分以上25分未満の階級の度数はいくつですか。 他に, 15-16行○い	児童にとって理解し難い表現である。 (どの集まりについての問題なのか分からない。)	3-(3)
36	199	図	PPDACサイクルの図	児童にとって理解し難い図である。 (3つのステージの関係が分からない。)	3-(3)
37	203	表	2つのソフトボール投げの記録の表	児童にとって理解し難い表である。 (表の「得点(点)」)	3-(3)
38	206	グラフ	右上の帯グラフ	児童にとって理解し難いグラフである。 (「低」, 「中」, 「高」の説明がなく理解し難いグラフである。)	3-(3)
39	207	7 - 8 右	柱状グラフは冊数ごとの人数がくわしくわかる!	児童にとって理解し難い表現である。 (冊数ごとの人数とは何か分からない。)	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

6 枚中 5 枚目

受理番号 30-157		学校 小学校		教科 算数		種目 算数		学年 6	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
40	231	7 右	⑧円の面積■1③	組織が適切でない。 (この問題は115ページに続いて行われるが、115ページの■1①と同じ面積を求める問題である。)	2-(12)				
41	242	25 左	⑩比とその利用■10の解答	不正確である。	3-(1)				
42	244	15 左	対(：)(～to～) 他に、右17-18行「まず…。次に…。最後に…。(First…。Next…。Lastly…。)」	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (どのように「～」や「…」を埋めて使うのか分からず、理解できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)				
43	244	14 右	比を簡単にする(simplifying a ratio) 他に、右15行「2つの比は等しい(equal ratio)」	不正確である。	3-(1)				
44	下巻 2	12 - 13	速さや図の大きさ、時間と道のりのように、基準となる単位をそろえることで、それらを比べることができました。	児童にとって理解し難い表現である。 (図の大きさについて、基準となる単位が分からない。)	3-(3)				
45	12	吹き出し	下のワッケルの吹き出し	児童にとって理解し難い表現である。 (8-12行の四角形の仲間分けとの関係が分からない。)	3-(3)				
46	24	吹き出し	下のナーゼの吹き出し	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (二等辺三角形や正三角形になるための角についての条件)	2-(17)				
47	26 - 48		②中学校へのかけ橋 発展	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されていない。	2-(17)				
48	26	1	発展	学習指導要領上の位置付けが明示されていない。	2-(17)				
49	27	吹き出し	下のだいきの吹き出し	児童にとって理解し難い表現である。 (何が線対称になっているのか分からない。)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

